

PINETEC

認証機能付き

アルコールチェッカー トライアルキット

PALC-KIT PT-140 Ver.1.7

取扱説明書

目次

はじめにお読みください	4
本製品のご使用にあたって	4
1. 製品について	5
1. 1 特 徴	5
1. 2 機 能	6
1. 3 製品構成.....	7
1. 4 製品仕様.....	7
1. 5 使用環境.....	8
1. 6 センサーの校正.....	8
2. ご使用前の準備.....	9
2. 1 機器の接続.....	9
2. 1. 1 PALC-KIT の接続	9
2. 1. 2 印刷機器の接続.....	10
2. 1. 3 機器の取り外し.....	10
2. 2 ソフトウェアのインストール.....	11
2. 2. 1 PALC-KIT 専用ソフトウェアのインストール	11
2. 2. 2 Virtual COM Port Driver のインストール	13
2. 2. 3 PALC-KIT 専用ソフトウェアのアンインストール	14
2. 2. 4 ソフトウェアの再インストール	14
2. 3 ユーザーの登録.....	15
3. 起動と終了.....	16
3. 1 起動方法.....	16
3. 1. 1 メニューからの起動	16
3. 1. 2 ショートカットからの起動	16
3. 2 終了方法.....	18
4. 画面説明.....	18
4. 1 アルコール濃度測定画面	18
4. 2 CSV外部出力画面	19
4. 3 ユーザーマスタ登録画面	20
4. 4 IDカード設定画面	21
4. 5 中間点呼取込画面	22
5. アルコール濃度の測定.....	23
5. 1 処理の流れ.....	23
5. 1. 1 アルコール濃度測定モード	24
5. 1. 2 外部データ取込モード.....	25
5. 2 アルコール濃度の測定手順.....	26
5. 2. 1 個人認証と測定モードへの移行	26
5. 2. 2 アルコールセンサー準備 (キャリブレーション)	27

5. 2. 3	アルコール濃度の測定	28
5. 2. 4	測定結果の確認と記録	29
5. 3	外部データの取り込み	32
5. 3. 1	IDカードによる外部測定データ取込	32
5. 3. 2	携帯電話-インターネット経由による外部測定データ読取	35
6.	ユーザー登録	38
6. 1	新規登録	38
6. 1. 1	はじめてユーザー登録する場合（管理者の登録）	38
6. 1. 2	一般ユーザーの登録	39
6. 2	編集	41
6. 3	削除	41
6. 4	事業所コードの登録	42
7.	外部出力	43
7. 1	CSV 外部出力方法	43
7. 2	Microsoft EXCEL による閲覧	45
8.	IDカード設定	46
8. 1	設定入力と保存	47
8. 2	IDカードへの書込み	48
8. 3	IDカードの初期化	48
9.	メンテナンス	49
9. 1	データのバックアップ	49
10.	参考資料	50
10. 1	ファイル構成	50
10. 2	設定ファイル	51
11.	こんなときは（トラブルシューティング）	53
	お問合せ先	56

はじめにお読みください

このたびは、アルコールチェッカートリアルキット PALC-KIT PT-140 をご採用いただき、まことにありがとうございます。本書は PALC-KIT PT-140 を正しくご利用いただくための操作方法ならびに注意事項等について記載しております。誤った操作や適切でない運用を行った場合は重大な事態を引き起こす可能性があります。ご利用前に本書をご一読いただき、製品に関する正しい知識を身につけてご活用いただきますようお願い致します。

本書は、本書作成時のハードウェアおよびソフトウェアの情報[※]をもとに作成されています。ソフトウェアのバージョンアップ等により記載内容とソフトウェアの機能や名称が異なる場合があります。また、本書の内容は予告なく変更することがあります。

本製品のご使用にあたって



警告

本製品は、飲酒運転の可否を判断するためのものではありません。本製品の測定結果のみで運転の可否を判断しないで下さい。

本製品は、飲酒の状態を一定の条件に基づいて判定しており、あくまでも飲酒状態の一判断材料として自主管理用にご利用下さい。したがって、本製品の製造者ならびに販売者は、本製品の使用を動機とするアルコール影響下の交通事故や飲酒運転による過失について、一切の責任を負いません。



注意

- 本製品は、半導体式ガスセンサーを使用していますので、アルコール以外のガス等にも反応する場合があります。アルコール濃度が検出された場合は口をすすいで再度測定を行って下さい。
- 本製品は、点呼時の飲酒有無の検出を目的としており、大量のアルコール摂取量を連続計測する用途には適していません。
- タバコの煙、殺虫剤、化粧品、シンナー、ペンキ等の可燃性の溶剤や塗料などの近くでは使用しないようにして下さい。
- 測定場所の周りがアルコールや有機系ガスの雰囲気では使用しないで下さい。精度や感度が低下し、正しい測定結果が得られない場合があります。

※ 本取扱説明書で記述している専用ソフトの対象バージョンは、Ver.1.7.0.0 です。

※ 一部画面の説明図が PT-100 Ver.2.0 の場合があります。PT-140 Ver.1.7 に置き換えてお読み下さい。

1. 製品について

1. 1 特徴

(1) お手軽導入

既存のパソコンに接続するだけで個人認証機能を備えたアルコール検知システムが簡単に実現できます。

(2) 簡単操作

IDカードをかざして（認証と測定準備）、息を吹きかけ（測定）、IDカードを外す（記録）の3ステップで測定が完了します。通常操作においてキーボード入力は不要です。

(3) ハイコストパフォーマンス

個人認証・測定経過グラフ表示・測定結果記録・外部出力・印刷など、標準で高機能を備えています。

(4) 中間点呼対応

遠隔拠点のアルコールチェッカーPALC-KIT PT-140 や車載用アルコールチェッカーPT-91シリーズと連携することにより遠隔地での測定結果をIDカードまたは携帯電話を利用してPALC-KIT PT-140に取り込んで管理することが可能です。

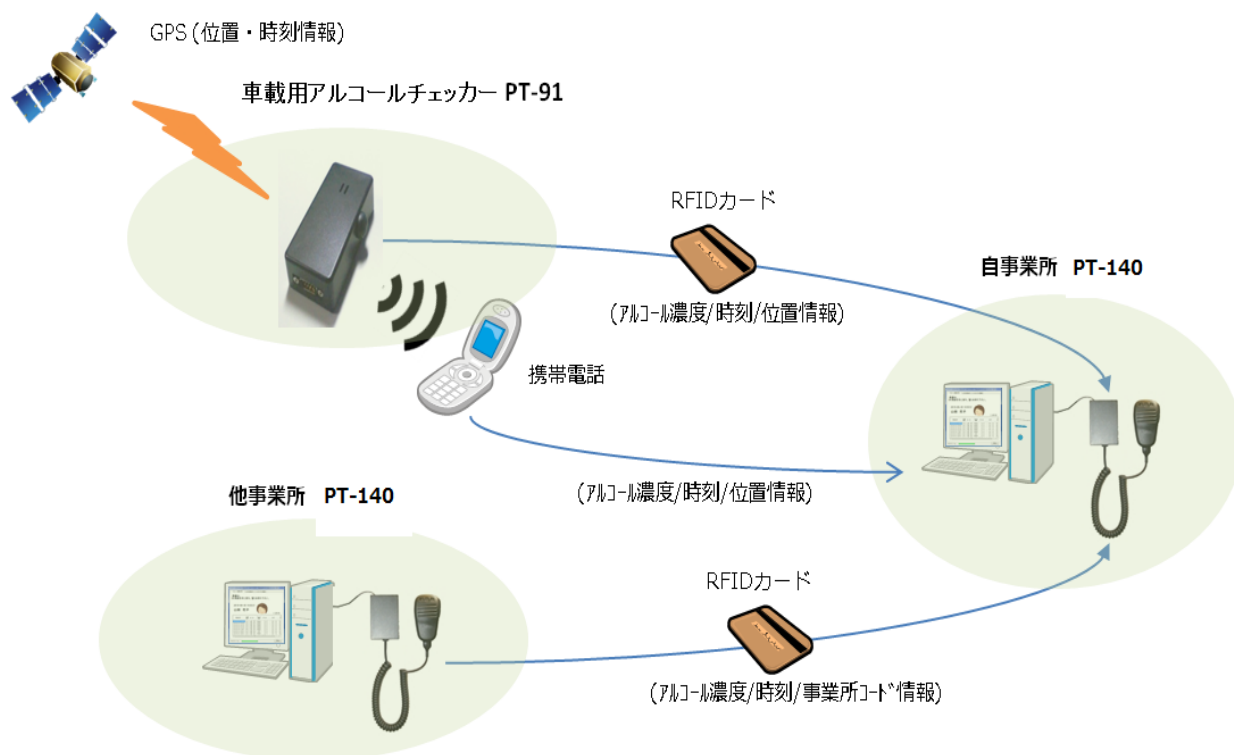


図 1 中間点呼の運用イメージ

1. 2 機 能

(1) アルコール濃度の検知

呼気中のアルコール濃度を検知し、結果をパソコンに記録します。

(2) I Dカードによる認証

R F I D付き社員証などにより被測定者の認証を行います。個人認証とアルコール濃度の検知を同時に行うことにより検知結果の改竄防止につながります。

(3) I Dカード書込み

I Dカードに情報を記録できるため、遠隔地で測定した結果を持ち帰る事ができます。

(4) 外部出力

アルコール濃度の検知結果をC S V形式で出力することができます。

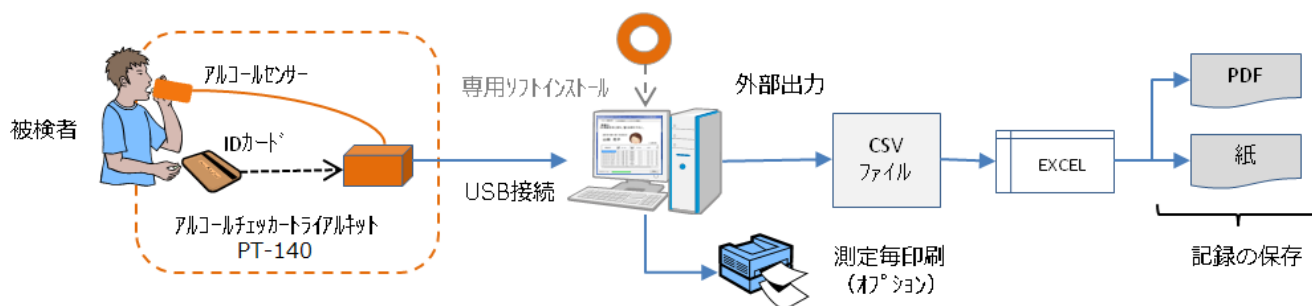


図 2 機器の運用イメージ

1. 3 製品構成

本製品は次の内容物より構成されています。

- ①アルコールセンサー部・RFIDセンサー部
- ②RFIDカード（無地3枚付属）
- ③専用ソフトウェア インストール CD
- ④取扱説明書（③インストール CD 中に記録）

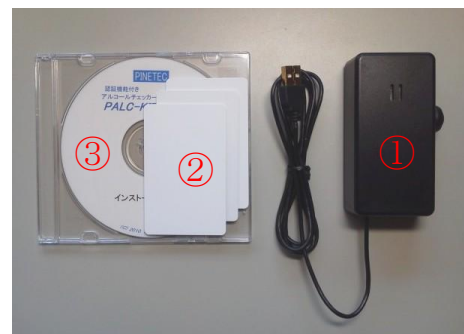


図 3 製品構成

1. 4 製品仕様

品名・型式	アルコールチェッカ PALC-KIT
使用環境条件	常温常湿環境（15～25℃、85%RH）

【アルコールセンサー】

センサータイプ	硫黄化合物ガス検知半導体素子
測定範囲	0.0 ～ 0.25 mg/l
分解能	0.04 mg/l

【RFID】

規格	ISO/IEC15693 準拠（非接触近傍型）
キャリア周波数	13.56MHz
変調方式	ASK 変調 100%/10%
符号化方式	Pulse Position 方式
データ転送レート	～26kbps
衝突防止（アンチコリジョン）	対応
交信距離	0～30mm（周囲に磁性体がないこと）

【ソフトウェア】

画面表示件数	1000 件
データ登録件数	ハードディスク容量による
登録ユーザー数	ハードディスク容量による

※本製品の仕様は、性能向上のため予告なしに変更することがあります。

1. 5 使用環境

本製品を利用するためには次の要件を満たすパーソナルコンピュータが必要になります。

【ハードウェア】

- ①USB2.0 インターフェース
- ②SVGA (800×600) 以上の解像度をもつ表示装置
- ③マウス等のポインティングデバイス

【ソフトウェア】

- ①オペレーティングシステム (OS) Microsoft Windows XP / Vista / 7 (32ビット版)
- ②Microsoft .Net Framework 3.5
- ③Microsoft EXCEL 等の表計算ソフトウェア

※Microsoft Windows XP / Windows Vista / Windows 7 は Microsoft Corp.の登録商標です。

※Microsoft EXCEL は Microsoft Corp.の登録商標です。

※本製品の効果音には TAM Music Factory の音源を使用しております。

1. 6 センサーの校正



本製品の機能および性能を維持するため、定期的なセンサー校正が必要です。弊社では6ヶ月毎のセンサー校正を推奨致しております。詳細につきましては、販売店または弊社までお問合せ下さい。

2. ご使用前の準備

2. 1 機器の接続

2. 1. 1 PALC-KIT の接続

PALC-KIT を使用する場合にはパソコンとの接続が必要になります。パソコンとの接続は PALC-KIT の USB ケーブルをパソコンの USB 端子に接続するだけで完了します。(図 4) 初めて PALC-KIT ご利用になる場合には、USB 機器のドライバソフトウェアのインストールを促すメッセージが表示されます。詳細については 2. 2. 2 Virtual COM Port Driver のインストールを参照して下さい。



図 4 パソコン USB 端子への接続

測定を行う 10 分前には PALC-KIT をパソコンに接続し、専用ソフトウェアを起動してセンサーのウォームアップ（暖気運転）を行って下さい。さらに、実際の測定を行う前に、2、3回テスト測定を行うと安定した測定が行えます。

2. 1. 2 印刷機器の接続

PALC-KIT 専用ソフトウェアは、測定毎に結果を印刷することができます。印刷は OS 上の「通常使うプリンタ」に設定されたプリンターに出力されます。パソコンと印刷機器との接続方法については各印刷機器の取扱説明書を参照して下さい。

PALC-KIT 専用ソフトウェアでは、測定結果を他の書類に記録として残す場合を想定し、出力の書式を KING JIM テプラ PRO SR3500P 等の PC ラベルプリンタ用（テープ幅 18mm/24mm）に設定してあります。PC ラベルプリンタをご利用したい場合には、お客様でご用意いただくか、販売店にご相談下さい。

2. 1. 3 機器の取り外し

PALC-KIT をパソコンから取り外す場合には、必ず専用ソフトウェアを終了させてからパソコンの USB 端子より PALC-KIT のケーブルを抜きます。

印刷機器等の外部入出力装置の取り外しについては、各機器の取扱説明書等を参照して下さい。

2. 2 ソフトウェアのインストール

PALC-KITを使用するためにはPALC-KITを接続したパソコンに次の2つのソフトウェアをインストールする必要があります。以下に各ソフトウェアのインストール手順を示します。

- PALC-KIT 専用ソフトウェア
- Silicon Labs 社 Virtual COM Port (VCP) Driver

※OS 上に Microsoft .Net Framework 3.5 がインストールされている必要があります。

※本書では例として WindowsVista の画面を使用しております。他の OS では表示が異なる場合があります。

2. 2. 1 PALC-KIT 専用ソフトウェアのインストール

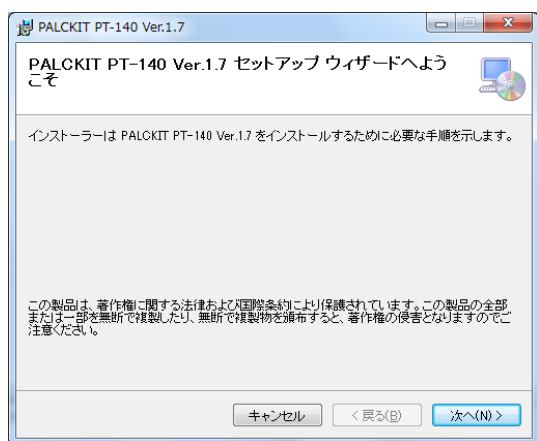


図 5 セットアップウィザード画面

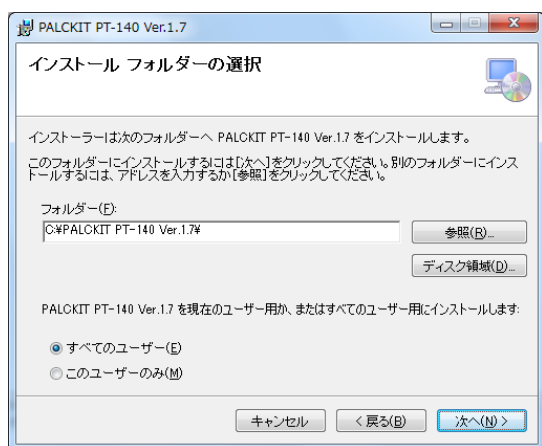


図 6 インストールフォルダ入力画面

①付属のインストール CD をパソコンにセットすると、自動的にセットアッププログラムが起動します。CD ドライブの自動機能を OFF に設定してある場合や自動起動しない場合には、CD ドライブの setup.exe をダブルクリックし、セットアッププログラムを起動して下さい。

②PALCKIT PT-140Ver.1.7 セットアップウィザード画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。

(図 5) この段階でエラーが発生した場合は 11 章のこんなときは (トラブルシューティング) を参照して下さい。

③インストールフォルダの入力を行います。任意のフォルダにインストールしたい場合は、直接インストールフォルダのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを指定します。さらにインストールの対象となるユーザーを選択後、[次へ] ボタンをクリックします。(図 6)

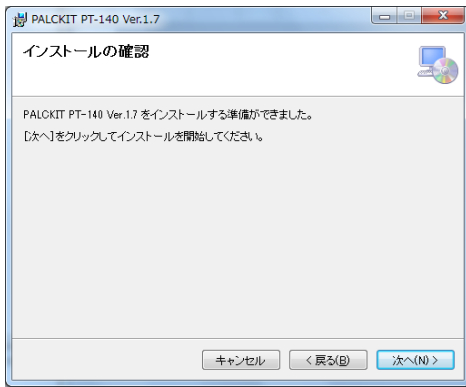


図 7 インストール確認画面

- ④インストールの確認画面が表示されるので、
[次へ] ボタンをクリックするとインストール
が開始されます。(図 7 図)

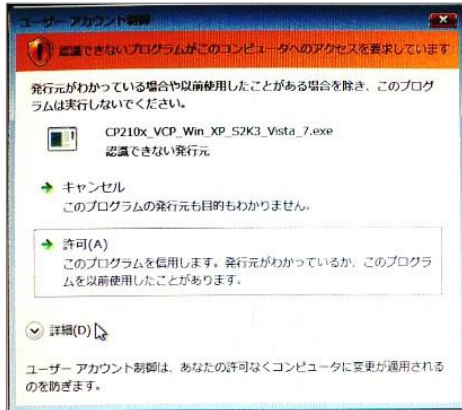


図 8 ユーザーアカウント制御画面

- ⑤ユーザーアカウント制御 (UAC) が有効な場合
は、図 8 の画面が表示されますので「許可」
をクリックして下さい。

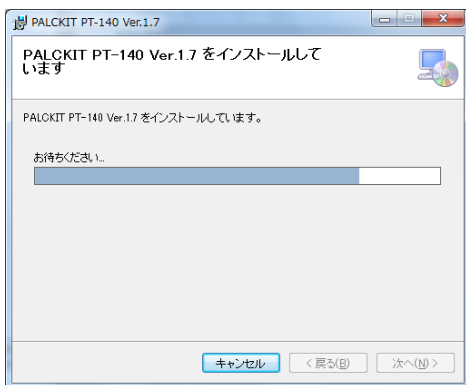


図 9 インストール進捗画面

- ⑥インストール実行中は図 9 の画面が表示され、
進捗状況を表示します。

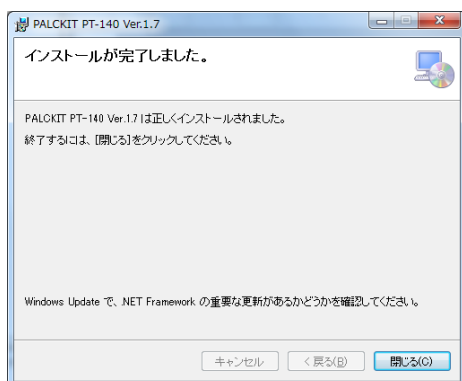


図 10 インストール完了画面

- ⑦インストールが完了すると図 10 が表示されま
す。

2. 2. 2 Virtual COM Port Driver のインストール

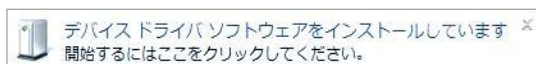


図 11 ドライバインストールメッセージ

電源の投入されたパソコンに初めて PALC-KIT を接続すると、画面上に図 11 のメッセージが表示され、メッセージをクリックすると Virtual COM Port (VCP) Driver のインストールが開始されます。

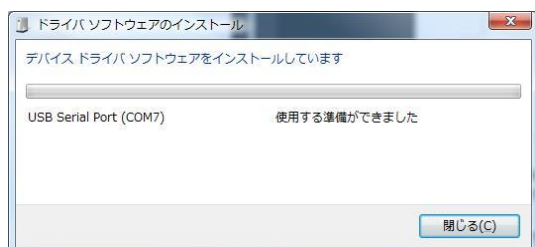


図 12 ドライバインストール進捗画面

ドライバーのインストール時に適切なドライバーが見つからなかった場合は、専用ソフトウェアインストール CD を CD または DVD ドライブにセットし、ドライバーの参照場所として CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7 フォルダを指定して下さい。

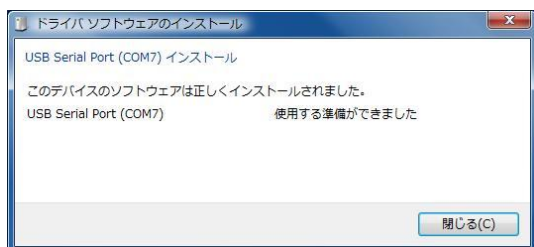


図 13 ドライバインストール完了画面

※最新の VCP Driver は、以下の Silicon Labs 社サイトよりダウンロードすることが可能です。

<http://www.silabs.com/products/mcu/pages/usbtouartbridgevcpcdrivers.aspx>

2. 2. 3 PALC-KIT 専用ソフトウェアのアンインストール

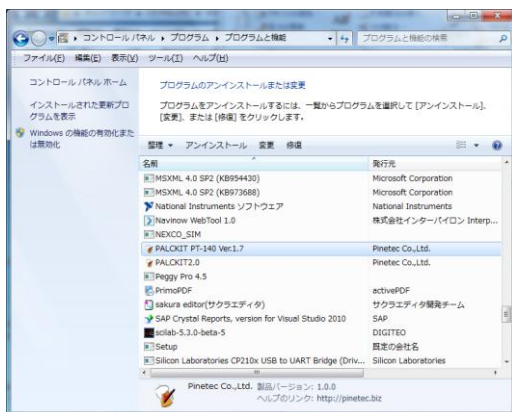


図 14 コントロールパネル

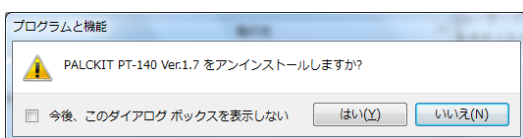


図 15 アンインストール確認画面

①OS のスタートメニュー→コントロールパネル
→プログラムと機能を起動します。

②プログラムと機能の画面から PALCKIT
PT-140Ver.1.7 をダブルクリックします。
(図 14)

③アンインストールの確認メッセージで [はい]
をクリックします。(図 15)

④ユーザーアカウント制御画面が表示され、許可
を求められた場合は、[許可]をクリックします。

2. 2. 4 ソフトウェアの再インストール

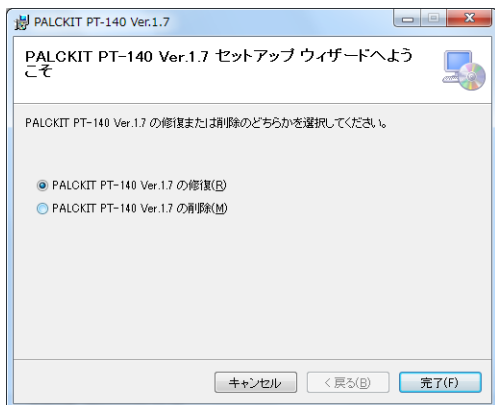


図 16 PALC-KIT の修復

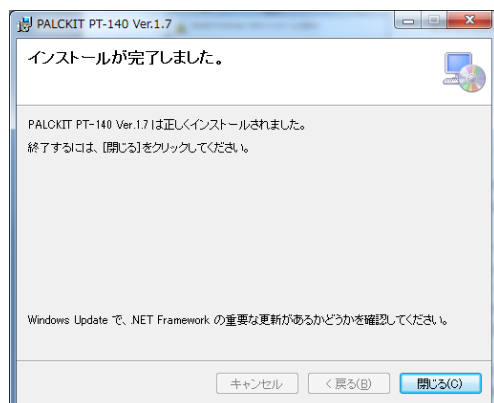


図 17 PALC-KIT の修復完了

PALC-KIT 専用ソフトウェアの再インストール
を行う場合には

① インストール CD の「setup.exe」を実行します。
セットアップが実行されると、「セットアップ
ウィザードへようこそ」画面(図 16)が表示さ
れますので、「PALCKIT PT-140Ver.1.7 の修
復(R)」をチェックし、[完了]ボタンをクリック
します。

②[完了]ボタンをクリックすると、再インストー
ルが実行され、「インストールが完了しました。」
画面(図 17)が表示されます。

③[閉じる(C)]ボタンをクリックしてアップグレ
ードを終了します。

※再インストールによって既存の設定やデータ
が上書きされることはありませんが、不測の事
態に備えバックアップを励行して下さい。

2. 3 ユーザーの登録

PALC-KIT でアルコール検知を行う際には、検知開始およびアルコール濃度測定中に ID カードを利用して被測定者の個人認証を行います。したがってアルコール検知の対象となる被測定者は、予めユーザー登録が完了している必要があります。ユーザー登録の具体的な操作方法については、6. 1 新規登録を参照して下さい。

3. 起動と終了

3. 1 起動方法

3. 1. 1 メニューからの起動

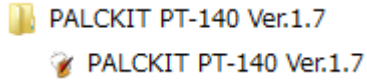


図 18 メニューからの起動

OSの「スタート」→「すべてのプログラム」→「PALCKIT PT-140 Ver.1.7」をクリックし、専用ソフトウェアを起動します。以降は3. 1. 2 ショートカットからの起動を参照して下さい。

3. 1. 2 ショートカットからの起動

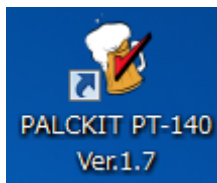


図 19 ショートカットからの起動

デスクトップ上のショートカット(図 19)をダブルクリックして PALC-KIT 専用アプリケーションを起動します。この際、IDカードの読取部にはIDカードが置かれていない事を確認して下さい。

ソフトウェアが起動するとウォームアップ中の画面(図 20)が表示されます。

ウォームアップ中は、画面左下に赤い●印が表示され、アルコールセンサーがまだ測定可能な状態になっていないことを示しています。

ウォームアップの状態でIDカードをかざす事によりウォームアップが一時中断され、ウォームアップの継続、中断選択メッセージが表示されます。(図 21)

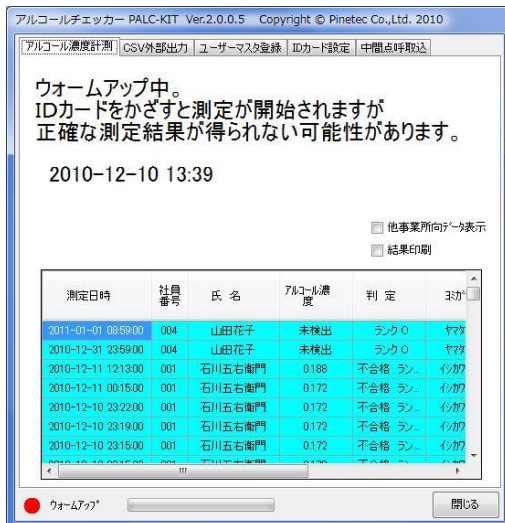


図 20 起動直後の表示画面

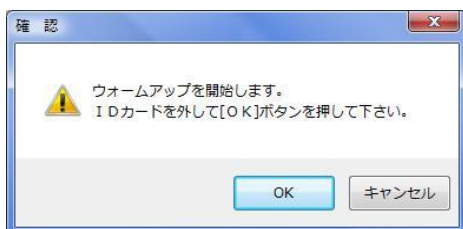


図 21 ウォームアップの継続確認

ウォームアップを継続する場合には ID カードを取り除き、[OK]ボタンをクリックします。ウォームアップを中断する場合には[キャンセル]ボタンをクリックします。

ウォームアップを中断することにより測定をはじめとした各種の操作が可能になります。



ウォームアップを中断した状態で測定を実行した場合、測定結果が安定せず、正確な測定を行うことができなくなります。



図 22 ウォームアップ完了画面

ウォームアップが終了すると画面の左下が緑の●印に変わります。(図 22)

※ウォームアップ表示は起動時のみ表示され、測定が開始以降は表示されなくなります。



専用ソフトウェア起動時に、『アルコールセンサーの校正期間が過ぎています。センサーの校正をお勧めします。』というメッセージが表示される場合があります。この表示は、アルコールセンサーの寿命を超えて使用している場合。あるいは PALC-KIT のハードウェアが専用ソフトウェアのバージョンに対して古い場合に表示されます。

メッセージが表示されても PALC-KIT をご使用いただけますが、正常な動作や正確な測定は保証致しかねます。このメッセージが表示された場合には、お問い合わせいただいた販売店にご相談下さい。

3. 2 終了方法

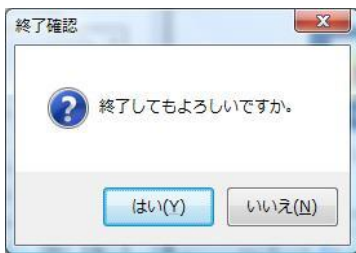


図 23 終了確認

ソフトウェアを終了する場合は、画面右下の [閉じる] ボタンをクリックし、終了確認画面で [はい] をクリックすることにより終了します。(図 23)

4. 画面説明

アルコールチェッカートライアルキットの PALC-KIT 専用ソフトウェアは、アルコール濃度測定画面、CSV外部出力画面、ユーザーマスタ登録画面、IDカード設定画面および中間点呼取込画面の5つの画面から構成されています。

4. 1 アルコール濃度測定画面

専用ソフトウェアのメイン画面です。この画面ではアルコール濃度測定に関して、被測定者に対する指示や測定結果の表示を行います。



図 24 アルコール濃度測定画面 1

画面切り替えタブ

各画面の切り替えを行います。

インフォメーション表示領域

操作指示や個人認証結果および測定結果を表示します。

履歴一覧表示領域

過去の計測結果を 1000 件分表示します。項目名をダブルクリックすることにより並び替えができます。項目名をドラッグし、表示幅を変更することができます。

キャリブレーション進捗表示

キャリブレーションの状況を表示します。

ソフトウェア終了ボタン

ソフトウェアを終了します。



図 25 アルコール濃度測定画面 2

他事業所向けデータ表示チェックボックス
他の事業所に所属するユーザーの測定結果を表示します。(中間点呼用)

結果印刷チェックボックス

測定結果を印刷する場合にチェックを入れます。

グラフ表示領域

リアルタイムに測定値を表示します。

4. 2 CSV外部出力画面

保存された測定結果をCSVファイルへ出力指示する画面です。

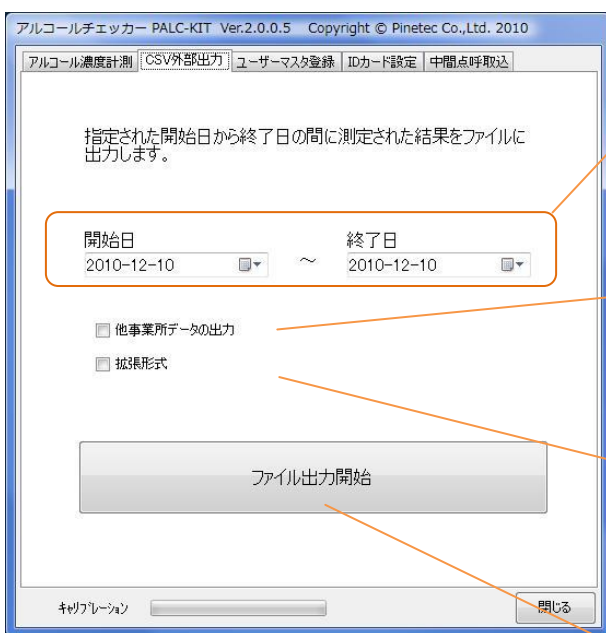


図 26 CSV 外部出力画面

出力範囲指定コンボボックス

CSV ファイルを出力する日付範囲を開始日と終了日で指定します。

他事業所データ出力チェックボックス

他の事業所に所属するユーザーの測定結果も出力します。

拡張形式チェックボックス

拡張された項目 (GPS データ等) を出力します。

出力開始ボタン

CSV ファイルの出力を実行します。

4. 3 ユーザーマスタ登録画面

ユーザー（被測定者）の登録、編集を行う画面です。

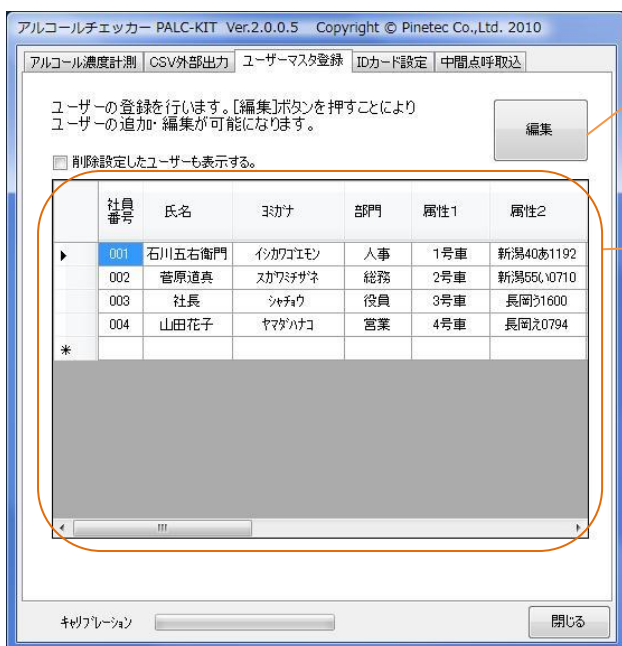


図 27 ユーザーマスタ登録画面 閲覧モード

編集ボタン

編集モード（閲覧／編集）の切り替えを行います。

ユーザー一覧表示領域

登録されているユーザーの一覧表示および編集領域。各項目名をダブルクリックすると並べ替えができます。また項目名をドラッグすると列幅を変更することができます。

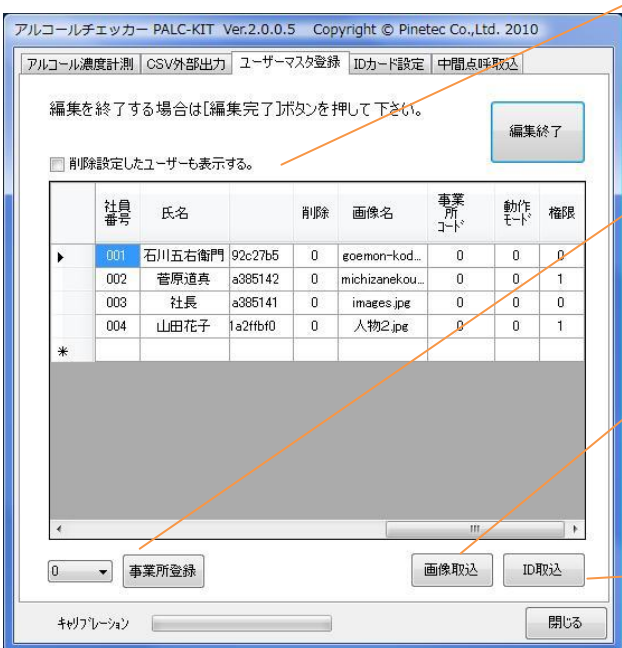


図 28 ユーザーマスタ登録画面 編集モード

削除ユーザー表示チェックボックス

チェックすると削除フラグをセットされたユーザーも表示対象とします。

事業所登録ボタン

所属する事業所を 0～F のコードで割り当てます。（中間点呼用）

画像取込ボタン

画像ファイルを取り込み、画像名の欄に画像ファイル名をセットします。

ID 取込ボタン

ID カードの ID 値を読み取り、ID 欄に値をセットします。

4. 4 IDカード設定画面

車載用アルコールチェッカーPT-91 シリーズと連携する際の ID カードへの設定を行います。

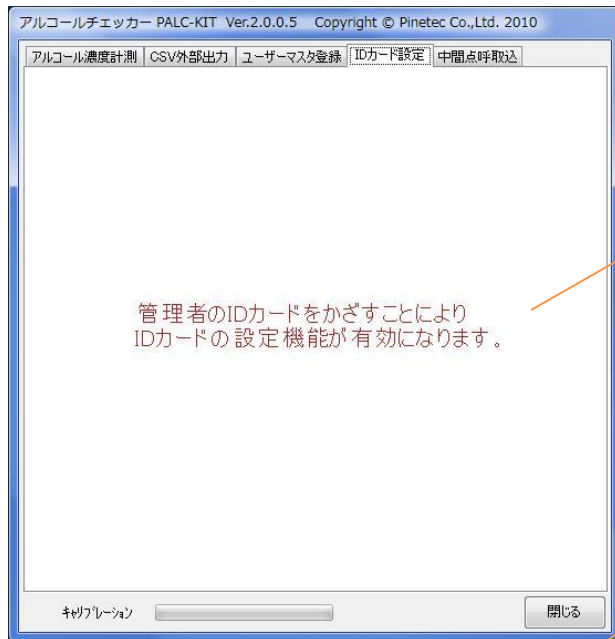


図 29 ID カード設定画面 1

セキュリティガード画面

管理者権限を持つユーザーのみが ID カード設定画面にアクセスできます。管理者の ID カードをかざすことよりの入力画面が表示されます。

対象者選択コンボボックス

設定対象となる ID カードの所有者を選択します。ユーザーマスタに登録されたユーザーが表示されます。

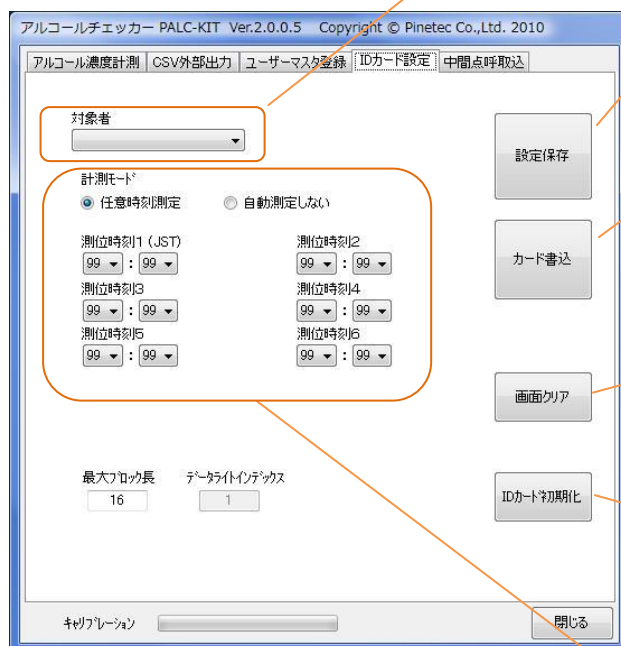


図 30 ID カード設定画面 2

設定保存ボタン

設定項目を内部データベースに保存します。

カード書込みボタン

内部データベースに保存された設定を ID カードに書込みます。(メンテナンス用)

画面クリアボタン

設定項目の内容を初期化します。

ID カード初期化ボタン

ID カードに記録された情報に不整合が発生した場合に使用します。(メンテナンス用)

設定項目

PT-91 の測定に関する設定を入力します。

4. 5 中間点呼取込画面

車載用アルコールチェッカーPT-91 より携帯電話経由で送信されたデータを受信します。

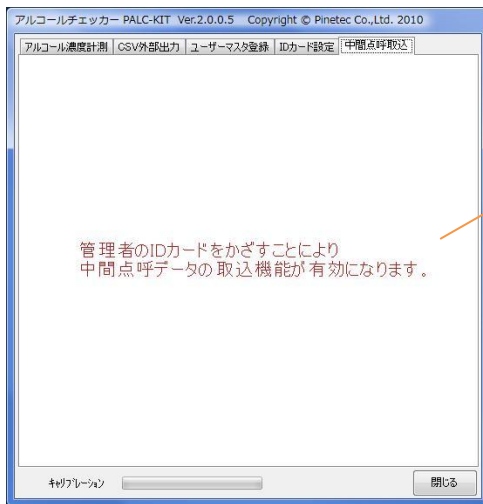


図 31 中間点呼取込画面 1

セキュリティガード画面

管理者権限を持つユーザーのみが中間点呼データの取込を行うことができます。

管理者の ID カードをかざすことにより図 32 の入力画面が表示されます。

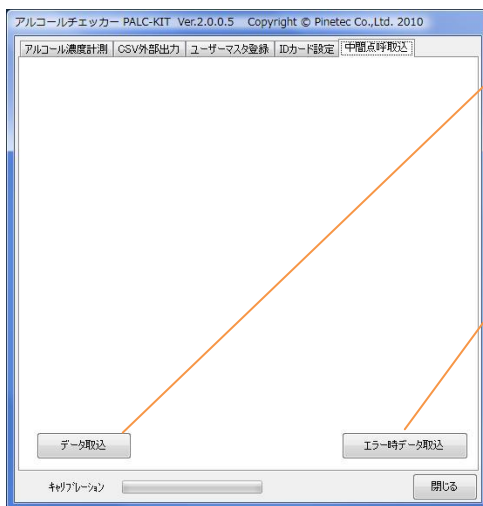


図 32 中間点呼取込画面 2

データ取込ボタン

PT-91 から送信され、サーバー上に保存された測定データを取り込みます。

エラー時データ取込ボタン

データ取込の失敗により中途半端な状態におかれたデータを取り込みます。(メンテナンス用) このボタンは通常非表示で、エラー発生時あるいは画面上をダブルクリックすることにより表示されます。

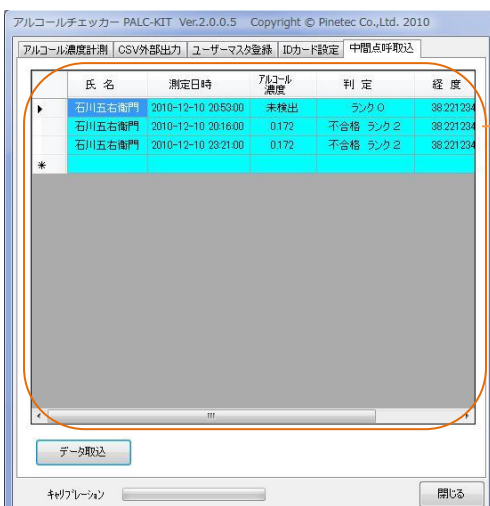


図 33 中間点呼取込画面 3

取込データ確認領域

取り込まれた中間点呼データが一覧表示されます。

5. アルコール濃度の測定

5. 1 処理の流れ

PALC-KIT PT-140 Ver.1.7 では中間点呼に対応するため、測定結果を ID カードに書込み、または読み取ることが可能になりました。これにともない外部データ取込モードが追加されました。モードは ID カードの状態に応じて自動で切り替わります。以下にモード分岐の概略を示します。

ID カードによる認証待ち

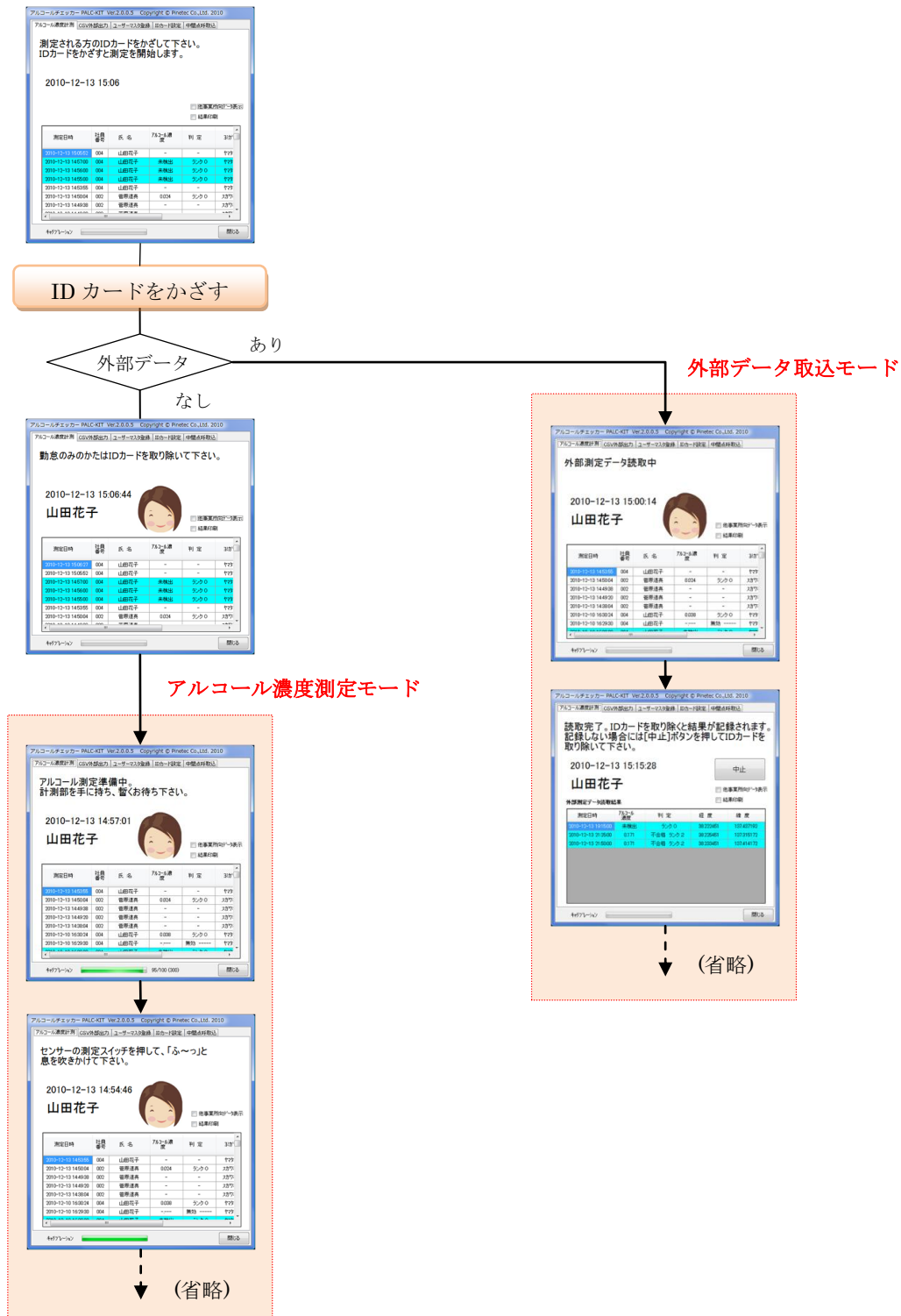



図 34 モード分岐

5. 1. 1 アルコール濃度測定モード

アルコール濃度測定の流れを示します。

 ユーザーの操作を示します。

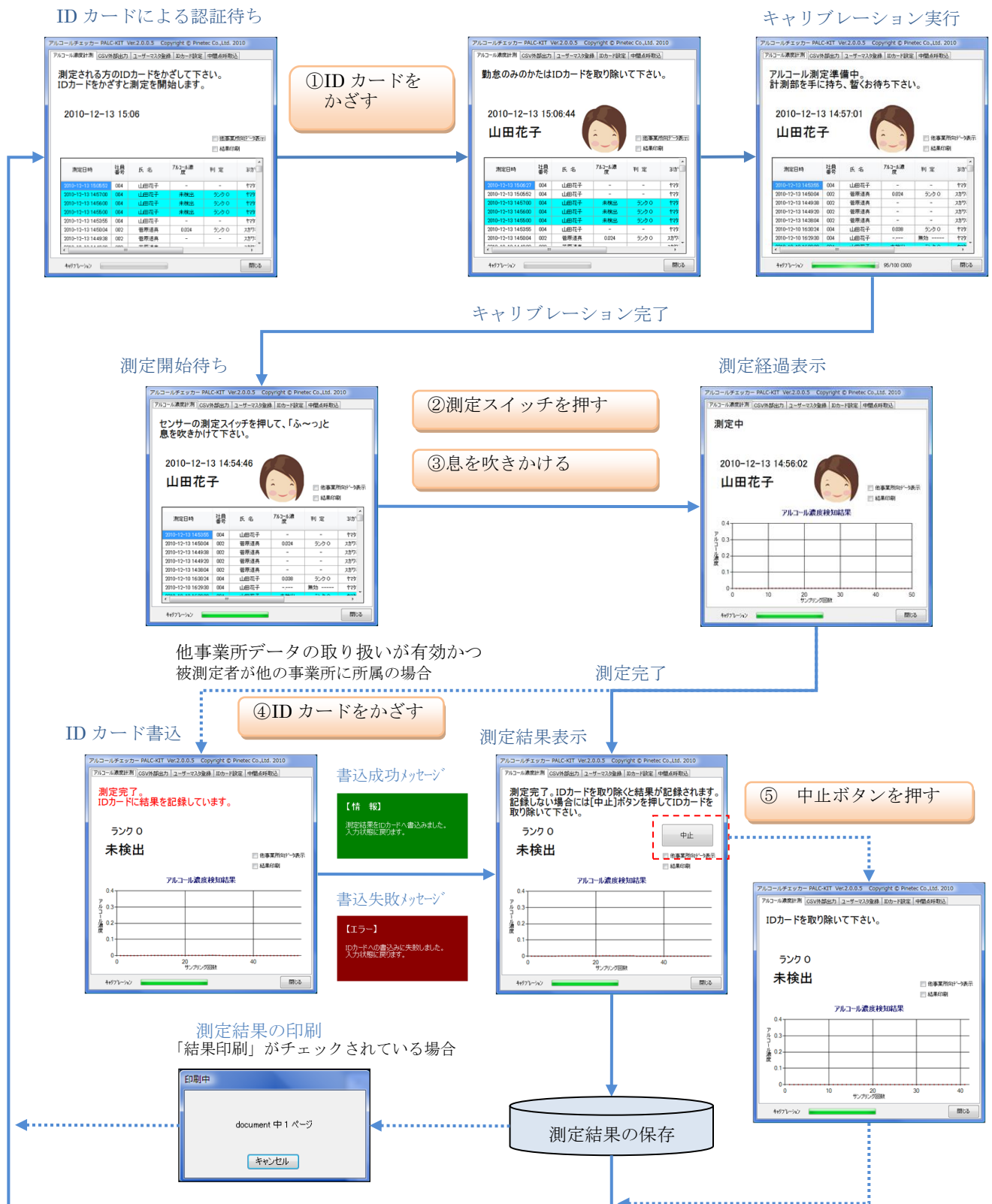


図 35 アルコール測定処理の流れ

5. 1. 2 外部データ取込モード

IDカードに他の事業所で書き込まれたデータが存在していた場合には、自動的に外部データモードで動作します。

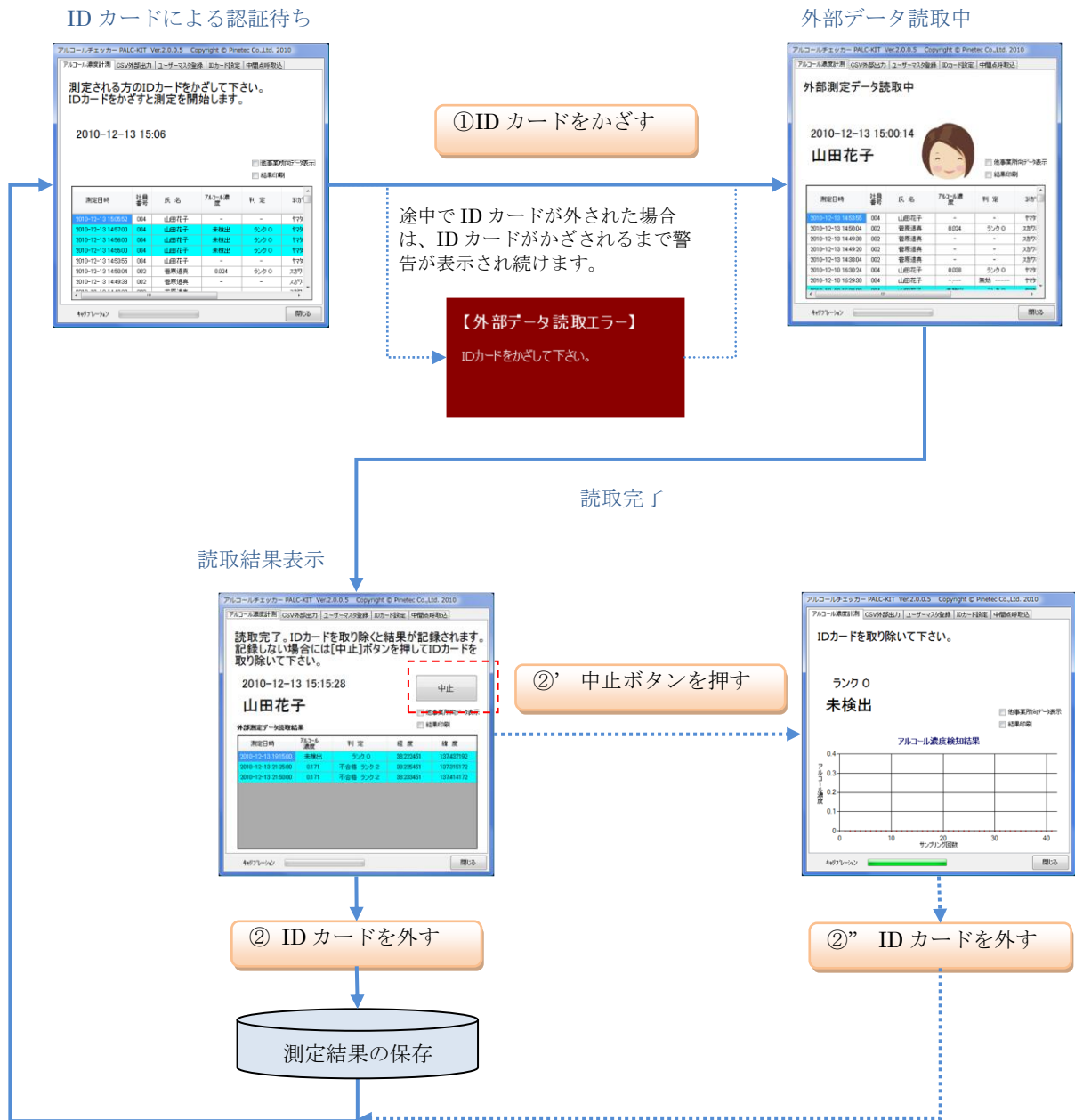


図 36 外部データ取込処理の流れ

5. 2 アルコール濃度の測定手順

アルコール濃度の測定手順について、各ステップ毎の処理や操作方法についての詳細な説明を行います。測定に際しては予め暖気運転を行って下さい。（2. 1 機器の接続を参照）

5. 2. 1 個人認証と測定モードへの移行

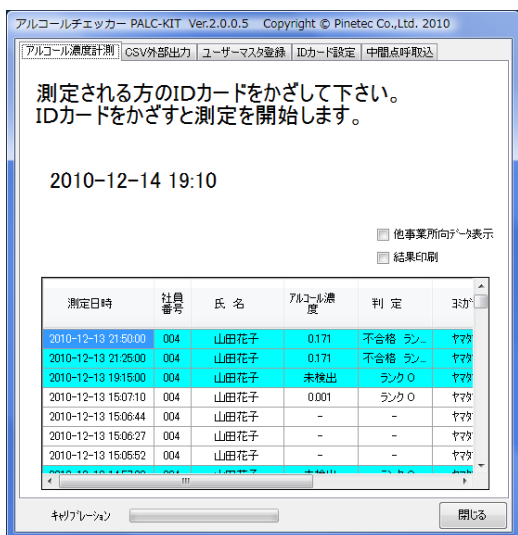


図 37 ID カードによる認証待ち画面

アルコール濃度の測定を開始する場合は、被測定者の ID カードを PT-140 本体にかざして下さい。（図 37）

ID カードが認識されるとチャイム音が流れます。

ID カードに他の事業所で書き込まれたデータが存在していた場合には、外部データモードで動作します。

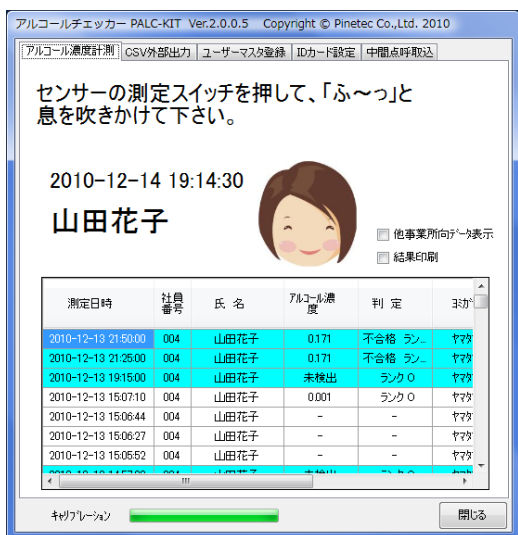


図 38 被測定者の認証画面

ID カードの読み取りに成功すると、画面上に読み取り日時と被測定者の氏名および顔写真が表示されます。（顔写真はユーザーマスタに登録されている場合のみ表示されます。）

被測定者が認証されると同時にアルコール濃度の測定モードに移行します。

※アルコール濃度測定モードに移行すると、CSV 外部出力画面およびユーザーマスタ登録画面へは移行できなくなります。

5. 2. 2 アルコールセンサー準備 (キャリブレーション)

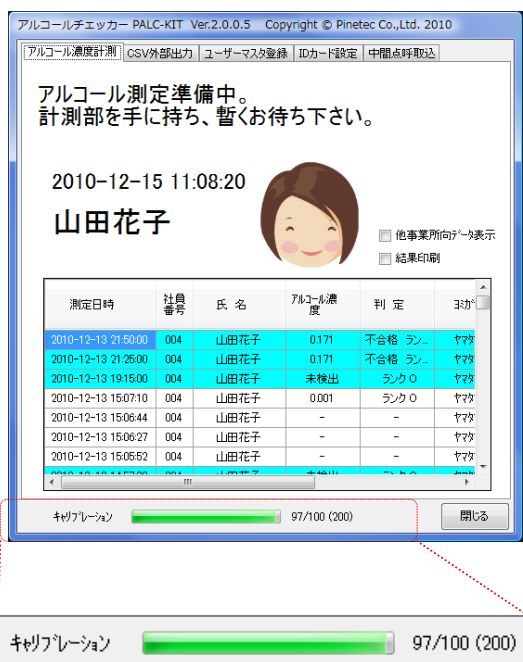


図 39 キャリブレーション実行画面

被測定者の認証が完了すると、アルコールセンサーが測定準備 (キャリブレーション) の状態になります。(図 39)

測定準備の状態になると、キャリブレーション進捗表示領域のバーグラフ表示が0の状態からフルの状態へ変化します。この表示がフルになるとアルコール濃度の測定が可能になったことを示しています。

キャリブレーションに要する時間は、直前の測定結果により大きく左右されます。直前の測定で高いアルコール濃度が検知されると、その影響が取り除かれるまで長い時間を要する場合があります。

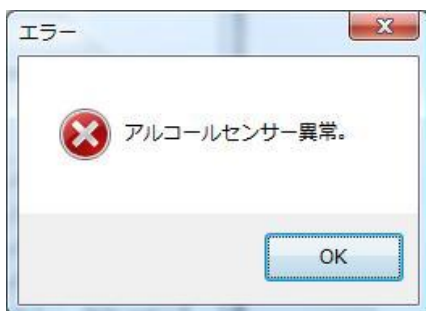


図 40 センサー異常

キャリブレーションが終了しない場合は最終的にアルコールセンサー異常が表示されます。(図 40) この状態が頻発する場合、アルコールセンサーの故障か寿命を示していますので、お問い合わせいただいた販売店に連絡して下さい。

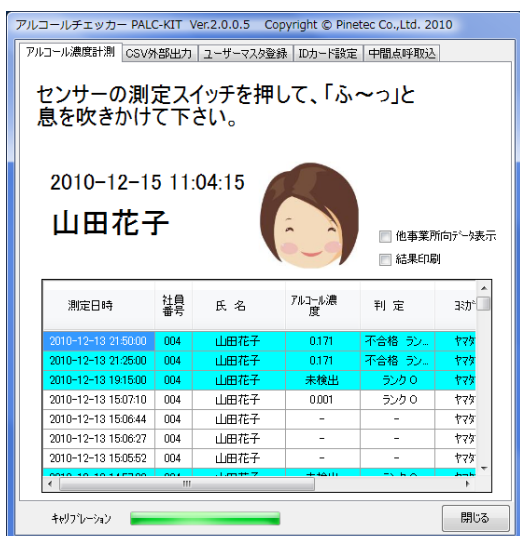


図 41 センサー準備完了画面

アルコールセンサーが測定可能な状態になると、画面上のメッセージが『センサーの測定スイッチを押して、「ふ〜っ」と息を吹きかけて下さい。』(図 41) の状態に変わります。

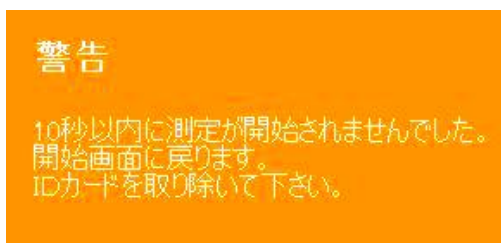


図 42 警告画面 1

アルコールセンサーが測定可能な状態で 10 秒間測定スイッチが押されなかった場合には、警告が表示され（図 42）、開始画面に戻ります。

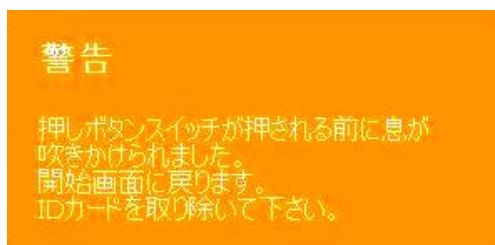


図 43 警告画面 2

押しボタンスイッチが押される前に息を吹きかけた場合には、警告が表示され（図 43）、開始画面に戻ります。

5. 2. 3 アルコール濃度の測定



図 44 測定中画面

アルコールセンサー側面の測定スイッチを押すと「ポツ」という測定開始音とともにアルコール濃度の測定が開始されますので、センサー部に向かって約 5 秒間「ふ〜っ」と息を吹きかけて下さい。（図 44）

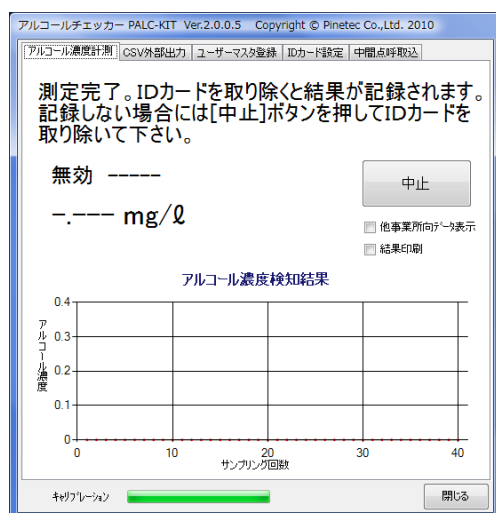


図 45 無効判定画面

測定中は、測定スイッチを押し続けて下さい。測定スイッチを放した状態ではアルコール濃度は測定されず、無効と判定されます。（図 45）

接続されたパソコンがスクリーンセーバーやスリープモードから復帰した状態では、測定スイッチを押していないにもかかわらず、自動的に測定を開始する場合がありますが、故障ではありません。

5. 2. 4 測定結果の確認と記録

(1) 測定結果を記録する場合

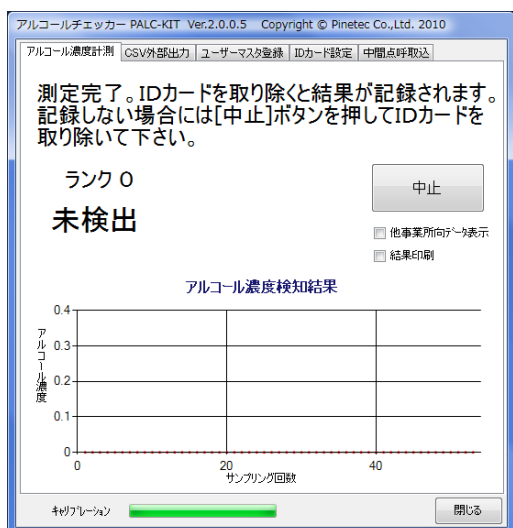


図 46 測定完了画面

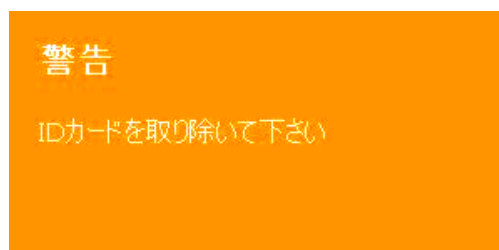


図 47 測定完了画面

測定が終了すると、「ポッ」という測定完了音が鳴り、画面上に測定完了メッセージが3秒間表示されます（図 46）。

測定結果は自動的にパソコン内に記録され、認証待ちの画面に切り替わり、次の測定の受け付け状態になります。

結果印刷チェックボックスがチェックされていた場合には、接続されている印刷環境に直前の測定結果が印刷されます。

設定ファイルにより「他事業所データの取り扱い」が有効になっている場合（初期値は無効）、測定した事業所に ID カードが登録されていない利用者は、測定終了後速やかに ID カードを PT-140 本体にかざして下さい。（3）の ID カード書込みの画面に変わります。ID カードへの書込みが完了メッセージが表示されたら ID カードを取り除いて下さい。ID カードを取り除かない場合は 30 秒毎に警告が表示され続けます。（図 47）

測定の結果、画面上に表示されるランクおよび合否表示は以下のように定義付けされています。（表 1）

表 1 ランク表示

ランク表示	値範囲	合否表示
無効	0.00	——
ランク 0	未検出	合格
ランク 1	0.04 以上 0.15 未満	要再測定
ランク 2	0.15 以上 0.20 未満	不合格
ランク 3	0.20 以上 0.25 未満	不合格
ランク 4	0.25 以上	不合格

(2) 測定結果を記録しない場合

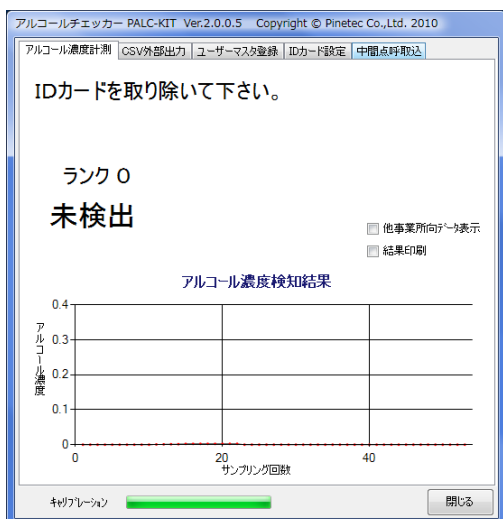


図 48 測定中止画面

測定した結果を記録しない場合には、[中止]ボタンを押して下さい。

[中止]ボタンを押すと、画面が切り替わり(図 48)「IDカードを取り除いて下さい。」というメッセージが表示されます。IDカードを取り除くと、認証待ち画面に切り替わり、次の測定の受け付け待ち状態になります。

(3) ID カード書込み

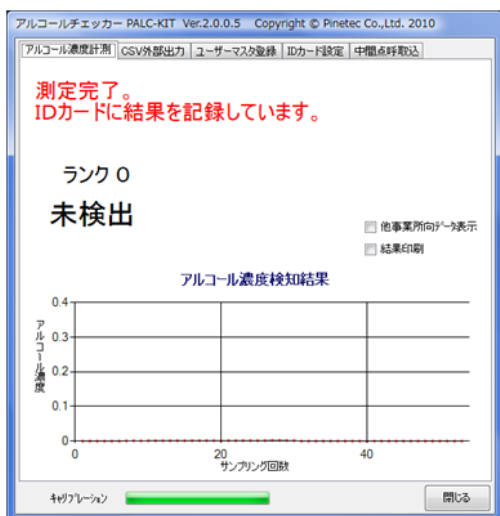


図 49 ID カード書込み

被測定者が他の事業所に所属している場合には、測定結果を ID カードに書込みます。(図 49)

ID カードに保存できる記録件数は、ID カード設定の最大ブロック長が 64 の場合は 9 件です。

【情報】

測定結果をIDカードへ書込みました。
入力状態に戻ります。

図 50 書込み成功メッセージ

【エラー】

IDカードへの書込みに失敗しました。
入力状態に戻ります。

図 51 書込みエラーメッセージ

ID カードへの書込みが成功すると図 50 が表示され、失敗すると図 51 が表示されます。

(4) 注意事項

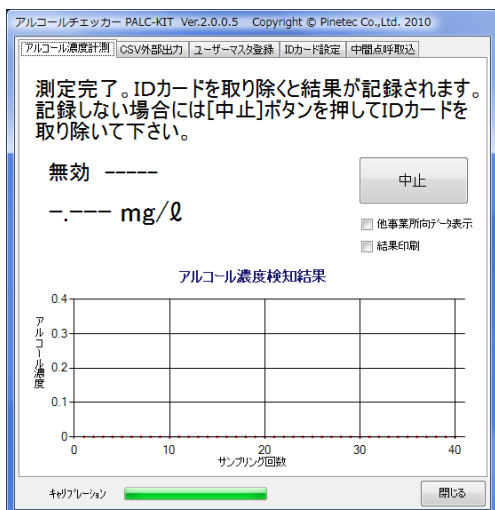


図 52 無効判定画面

正しく息を吹きかけていなかった場合にはセンサーが正しく反応できずに測定結果が無効になる場合があります。(図 52)

実際の記録測定に際しては、より確実な結果を得るために2、3回テスト測定されることをお勧め致します。



実際に測定を行う場合には、PALC-KIT 専用ソフト以外にウイルスチェックソフトの検索実行やバックアップなどの負荷の高いソフトウェアを同時に起動させないようにして下さい。PALC-KIT の動作が不安定になり、正しく測定できない場合があります。

5. 3 外部データの取り込み

中間点呼に対応するため、自事業所以外で測定されたアルコール濃度の測定結果を自事業所に設置された PALC-KIT PT-140 に取り込む事ができます。

遠隔地の測定データは、車載用アルコールチェッカーPT-91 または他事業所に設置された PT-140 で発生します。これらの測定データは、RFID カードに書き込まれ、自事業所の PT-140 で読み取られるか、携帯電話からインターネット経由で自事業所の PT-140 に取り込むことができます。

以下に PT-140 における具体的なデータの取り込み手順について説明します。

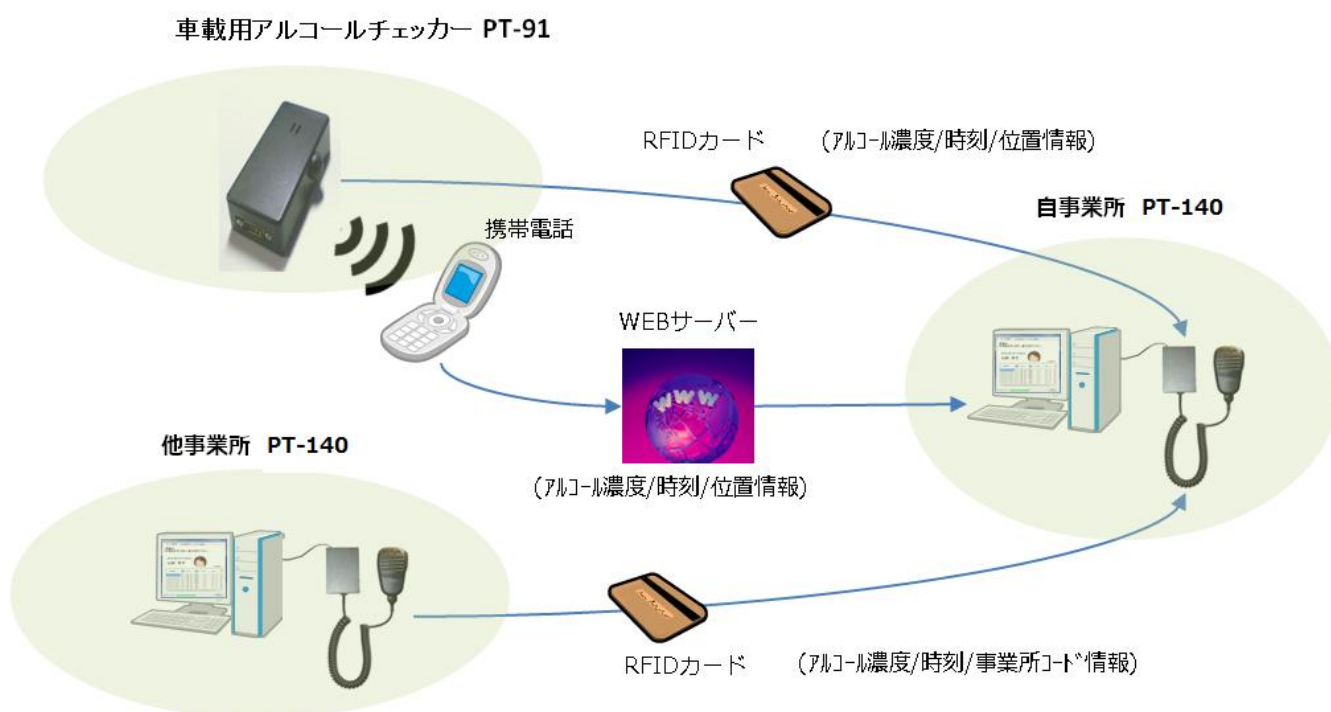


図 53 外部データの取り込み

5. 3. 1 ID カードによる外部測定データ取込

ID カードに未取込の測定結果が記録されていた場合は、優先的に外部データ取込モードに移行し、ID カードに記録された測定データを取り込みます。外部データを取り込み終わると再び ID カードによる認証待ち画面に戻ります。

以下に ID カードによる外部データ取り込み手順について説明します。



ID カードに未取込の測定データが存在した状態では、アルコール濃度測定や勤怠処理を行うことができません。



図 54 ID カードによる認証待ち画面

ID カードによる認証待ち画面の状態、未取込の測定結果が記録された ID カードをかざします。



図 55 外部測定データ読取中 1

ナビゲーション表示が「外部測定データ読取中」に変わり、表示脇の括弧の中に進捗状況が表示されます。進捗状況は、以下のように変化します。

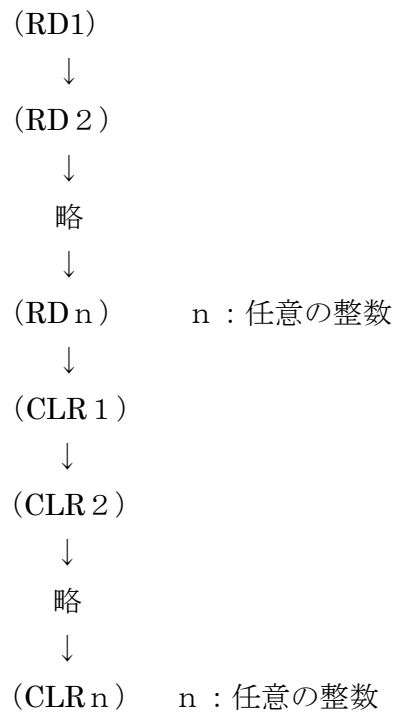


図 56 外部測定データ読取中 2

※RD … ID カードのデータを読取中
CLR … ID カードのデータを消去中

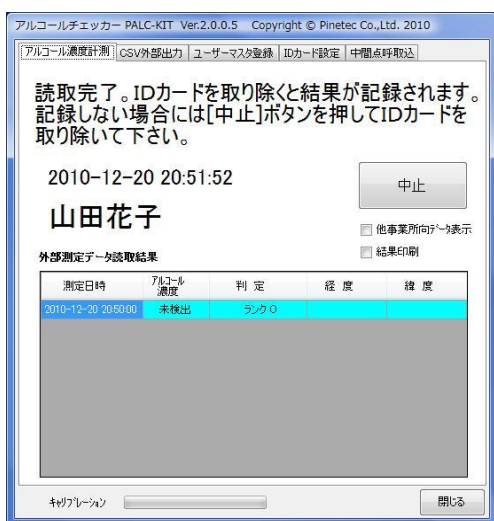


図 57 外部測定データ読取完了

読取が完了すると、ID カードから読み取ったデータが外部測定データ読取結果として一覧表示されます。

(図 57)

ID カードを取り除くと、一覧表示された内容がデータベースに取り込まれ、ID カードの認証待ち画面に戻ります。

ID カードの認証待ち画面の一覧表示上では外部読取データは背景色が水色で表示され、自事業所で測定された結果と区別されます。

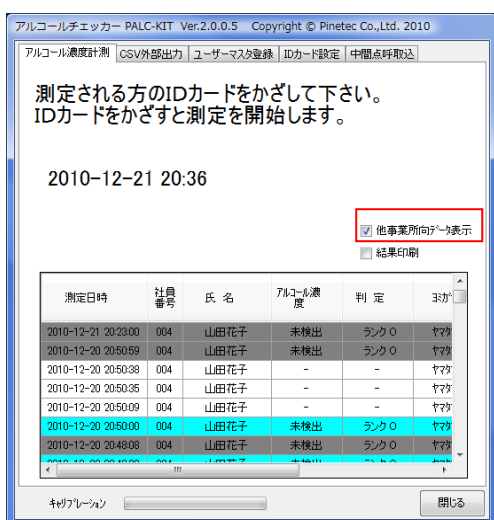


図 58 他事業所向けデータ表示

「他事業所向けデータ表示」チェックボックスをチェックすると、自事業所以外（ユーザー登録されていない）の ID カードで測定した結果を表示することができます。その際のデータは背景色が灰色で表示されます。(図 58)

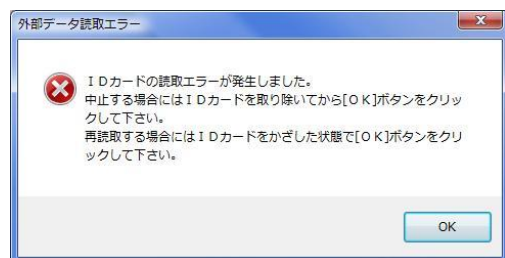


図 59 外部データ読取エラー

外部測定データの読取中に ID カードを誤って取り外してしまった場合や読取エラーが発生した場合には、図 59 のメッセージが表示されます。読取を再実行する場合は ID カードをかざした状態で [OK] ボタンをクリックし、中止する場合には ID カードを取り除いた状態で [OK] ボタンをクリックします。

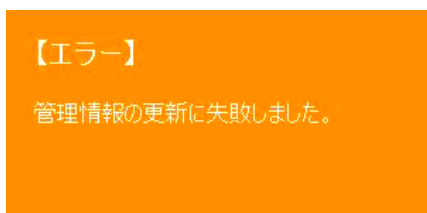


図 60 管理情報更新失敗

図 60 のエラーが発生した場合、外部測定データ自体は取り込みを完了しましたが、ID カードに対する情報の更新に失敗した事を示しています。

ID カードの認証待ち画面の状態再度 ID カードをかざすことにより更新が完了します。ただし、同じ外部測定データを取り込もうとするため、図 61 のエラーが発生しますが、[OK] ボタンを押して下さい。



図 61 記録時エラー

図 61 の記録時エラーは、同じユーザーID、同じ測定日時のデータを重複取り込みを実行しようとした場合に表示されます。重複エラーとなったデータは、「ErrDat.csv」というファイルに記録されます。

5. 3. 2 携帯電話—インターネット経由による外部測定データ読取

車載用アルコールチェッカーPT-91βで測定された結果を FeliCa 対応の携帯電話からインターネット経由で自事業所の PT-140 に取り込む事ができます。

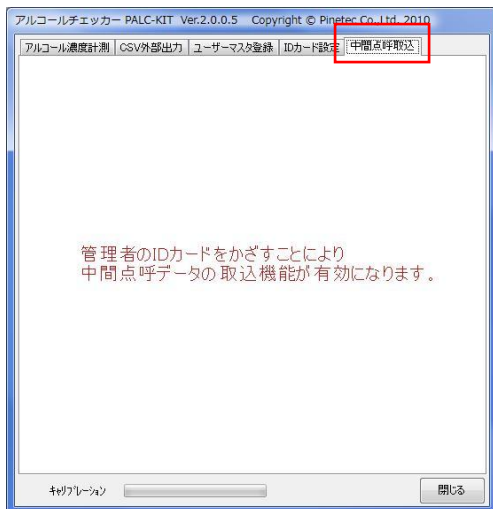


図 62 中間点呼取込画面 1

インターネット経由で外部測定データを取り込むには、中間点呼取込タブを選択します。

この機能は管理者権限が必要なため、管理者の ID カードをかざします。(図 62)

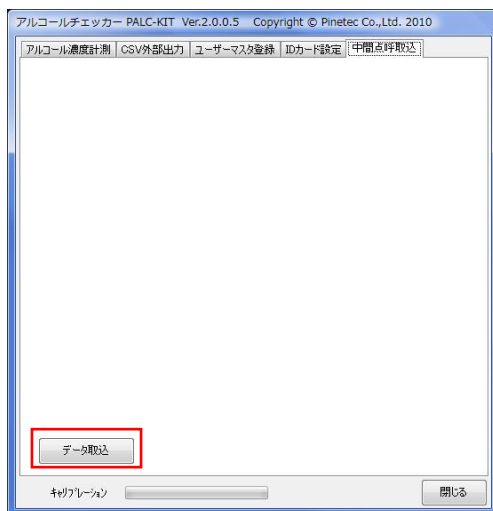


図 63 中間点呼取込画面 2

管理者として認識されると、[データ取込] ボタンが表示されますので、[データ取込] ボタンをクリックします。(図 63)

外部データを取り込むためには、PT-140 に接続されたパソコンがインターネットに接続され、各種環境設定が必要です。詳細については、弊社サポートまでお問合せ下さい。

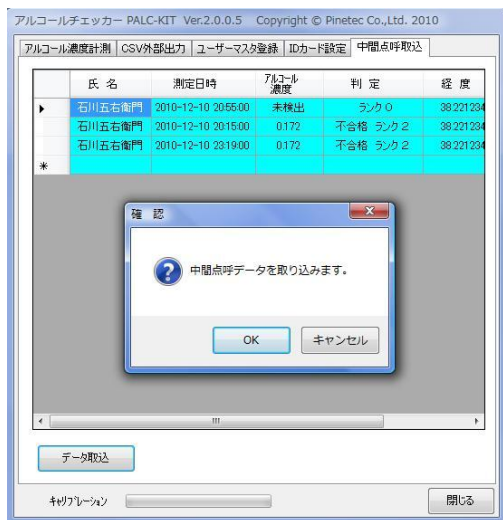


図 64 中間点呼データの取り込み

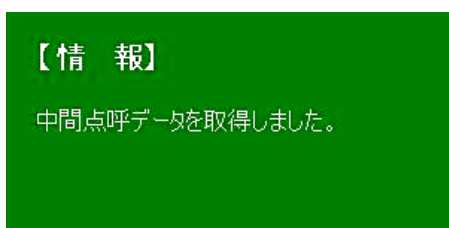


図 65 中間点呼データ取得成功メッセージ

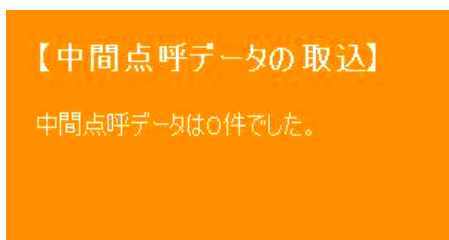


図 66 データ不在メッセージ

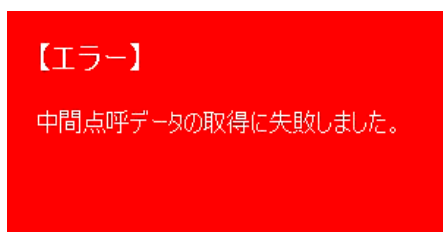


図 67 中間点呼データ取得失敗メッセージ

外部サーバーより中間点呼データを取得すると中間点呼データの取り込み確認メッセージが表示されます。(図 64)

[OK] ボタンをクリックすると、一覧表示された内容が自事業所の所属データとして保存されます。

データに問題がなく正常に保存された場合は、中間点呼データ取得成功メッセージ(図 65)が3秒間表示されます。

アルコール濃度計測タブをクリックし、履歴一覧を表示すると、取り込まれたデータを確認することができます。

外部サーバー上に中間点呼データが存在しなかった場合には、データ不在メッセージ(図 66)が3秒間表示されます。

データに異常があった場合や、[キャンセル] ボタンをクリックした場合には、中間点呼データ取得失敗メッセージ(図 67)が3秒間表示されます。

中間点呼データは一括処理されるため、1件でも異常データが存在した場合には、全てのデータの取り込みがエラーとなります。

エラーが発生した場合は自動的に[エラー時データ取込]ボタンが表示されます(図 68)。もしボタンが表示されない場合には、画面上の空白部分をダブルクリックすると[エラー時データ取込]ボタンが表示されます。

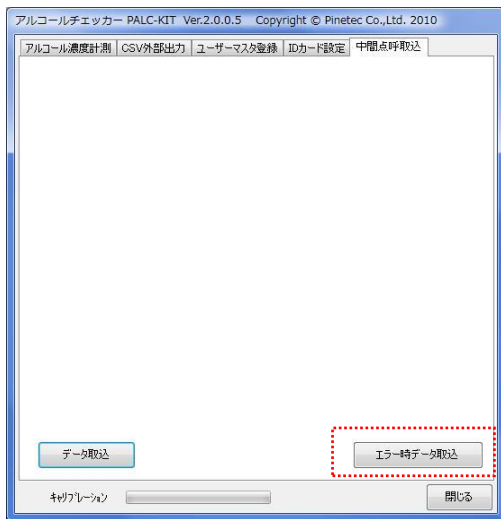


図 68 エラー時データ取込

[エラー時データ取込] ボタンをクリックすることにより、異常データの影響で取込に失敗した正常な中間点呼データを、自事業所の所属データとして保存します。

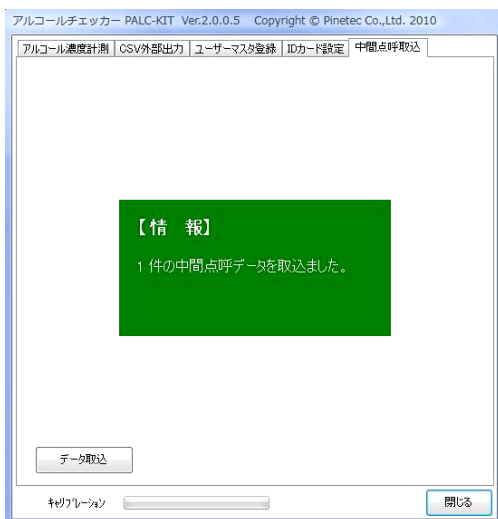


図 69 エラー時データ取込成功

6. ユーザー登録

PALC-KIT でアルコール検知を行う際には、検知開始時およびアルコール濃度測定中に ID カードを利用して被測定者の個人認証を行います。したがってアルコール検知の対象となる被測定者は、予めユーザー登録されている必要があります。

ユーザー登録は、ID カードに登録されている固有の ID 番号とユーザーの情報を紐付けし、管理します。以下にユーザーの新規登録、編集および削除の操作方法を説明します。

なお、ユーザーマスタの編集を実行するためには管理者権限が必要になります。管理者権限の登録はユーザーマスタ登録画面の「権限」フィールドで設定し、権限の認証は ID カードで行います。

6. 1 新規登録

6. 1. 1 はじめてユーザー登録する場合（管理者の登録）

PALC-KIT 専用ソフトウェアをインストールした直後は、ユーザーは一人も登録されていない状態となっています。ユーザー登録を行うためには管理者権限が必要なため、最初に管理者を登録する必要があります。

通常ユーザーマスタの登録や編集を行うためには ID カードで管理者認証を行う必要がありますが、管理者が登録されていない場合は、管理者認証を行わず、だれでもユーザーマスタの登録や編集を行う事ができます。以下にその手順を示します。

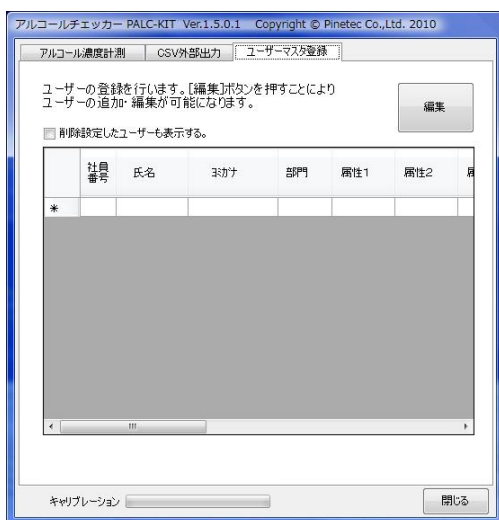


図 70 ユーザーマスタ登録

①「ユーザーマスタ登録」タブを選択し、ユーザーマスタ登録画面を表示します。

(図 70)

②[編集] ボタンをクリックし、編集モードに入ります。

③以下の情報を入力します。

「社員番号」 「氏名」 「ヨミガナ」 「部門」
「属性1」 「属性2」 「属性3」 「備考」
「事業所コード」 「動作モード」 「権限」

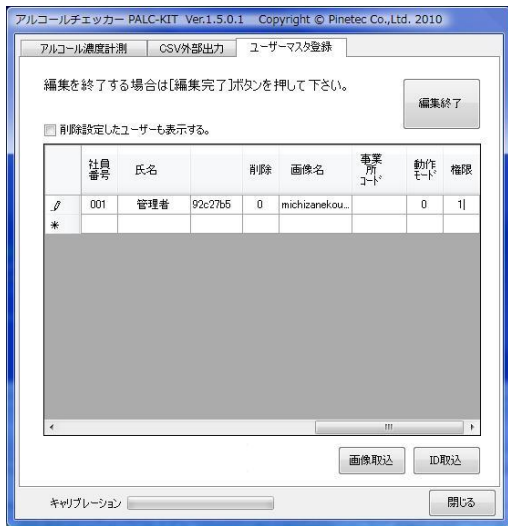


図 71 編集権限登録

「動作モード」は、アルコール測定モードと勤怠モードの切り替えを行います。

0 (半角)・・・ アルコール濃度測定モード

1 (半角)・・・ 勤怠モード

※PT-140 は勤怠モードには対応していません。

「権限」は、ユーザーマスタの編集権限を設定します。

0 (半角)・・・ 編集権限なし

1 (半角)・・・ 編集権限あり



編集権限のある管理者を設定しない場合は、だれでもユーザー情報を変更することができ、好ましい状態ではありません。必ず管理者を設定するようにして下さい。

以降の操作は、「6. 1. 2 一般ユーザーの登録」の④を参照して下さい。

6. 1. 2 一般ユーザーの登録

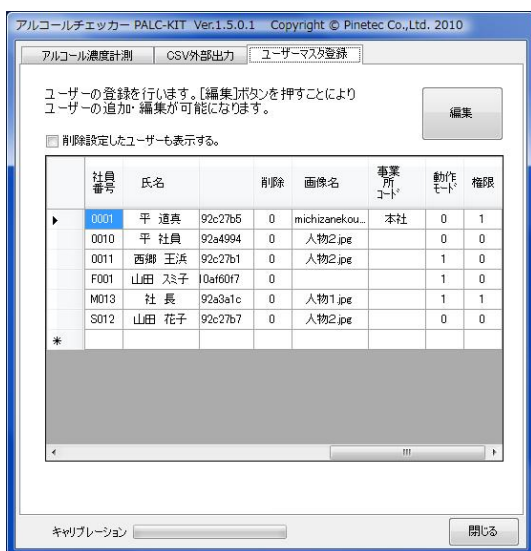


図 72 ユーザーマスタ登録

- ① 「ユーザーマスタ登録」タブを選択し、ユーザーマスタ登録画面を表示します。(図 72)
- ② [編集] ボタンをクリックすると、メッセージが「編集権限の認証を行います。ID カードをかざして下さい。」と表示されます。ここで権限者の ID カードをかざす事により編集モードに入ります。
- ③ 以下の各欄にユーザーの情報を入力します。
「社員番号」「氏名」「ヨミガナ」「部門」「削除」「動作モード」「権限」

「社員番号」「氏名」「ヨミガナ」「部門」「削除」「動作モード」「権限」は必須入力項目です。(「削除」欄が未入力の場合には「0」が自動的に入力されます。)

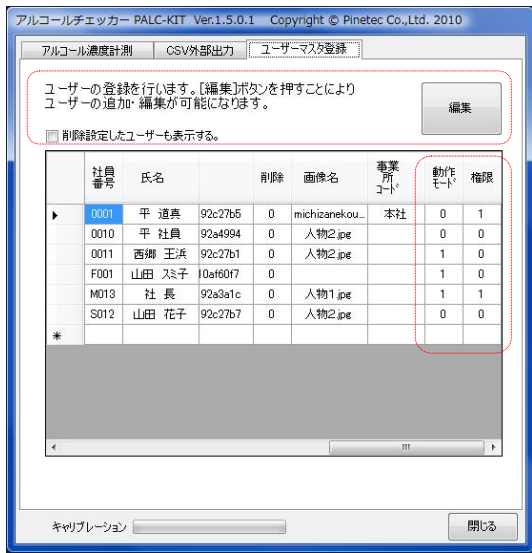


図 73 ユーザーマスタ登録

「動作モード」は、アルコール測定モードと勤怠モードの切り替えを行います。

0 (半角)・・・ アルコール測定モード

1 (半角)・・・ 勤怠モード

※PT-140 は勤怠モードには対応していません。

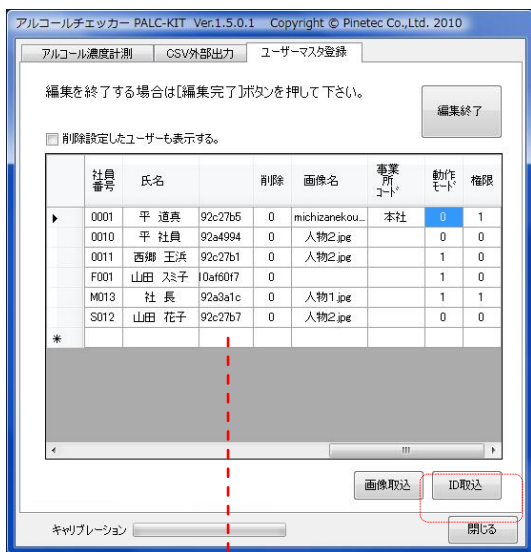
「権限」は、ユーザーマスタの編集権限を設定します。通常は「0」を設定して下さい。

0 (半角)・・・ 編集権限なし

1 (半角)・・・ 編集権限あり



「属性1」～「属性3」は、お客様が任意の属性を定義して入力することができます。(例…担当車両、担当地区など)



- ④ ユーザーと ID カードの関連付けを行います。関連付けたいユーザー行を選択した状態で、ID カードを RFID センサー部に置き、[ID 取込] ボタンをクリックすることにより、カードから読み取られた ID 番号が選択行の ID 欄に表示されます。(図 74)

登録時に ID の重複エラーが表示される場合には、「1 1. こんなときは (トラブルシューティング)」を参照して下さい。

社員番号	氏名	ID	削除	画像名	事業所コード	動作モード	権限
▶ 0001	平 道典	e0070000192c27b5	0	michizanekou...	本社	0	1
0010	平 社員	e0070000192a4994	0	人物2.jpg		0	0
0011	西郷 王浜	e0070000192c27b1	0	人物2.jpg		1	0
F001	山田 スミ子	e004010010af60f7	0			1	0
M013	社長	e0070000192a3a1c	0	人物1.jpg		1	1
S012	山田 花子	e0070000192c27b7	0	人物2.jpg		0	0

図 74 ID 読込

「ID」の値は重複することが許されません。

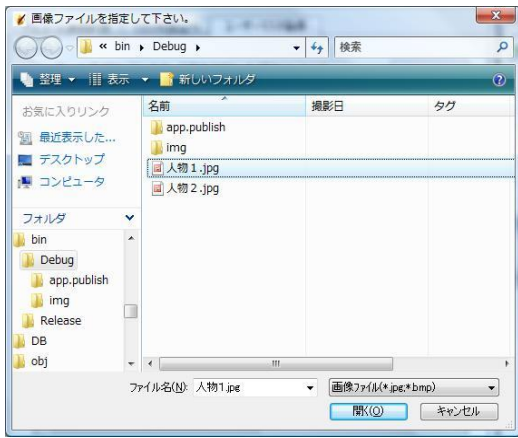


図 75 画像ファイルの指定

⑤ ユーザーの写真を登録する場合は、ユーザーを選択後、「画像取込」ボタンをクリックし、画像取込ダイアログボックスから画像ファイルを指定します。(図 75)

⑥ [編集終了] ボタンをクリックすることにより入力した内容が保存されます。

※画像のサイズは自動的に調整され表示されますが、縦横 100~200 ピクセル程度のサイズの画像が適切なサイズになります。

6. 2 編集



図 76 ユーザー編集画面

① 「ユーザーマスター登録」タブを選択し、ユーザーマスター登録画面を表示します。

(図 76)

② [編集] ボタンをクリックすると、メッセージが「編集権限の認証を行います。ID カードをかざして下さい。」と表示されます。(図 76) ここで権限者の ID カードをかざす事により編集モードに入ります。

③ 編集したい項目を直接編集します。

④ [編集終了] ボタンをクリックすることにより入力した内容が保存されます。

6. 3 削除

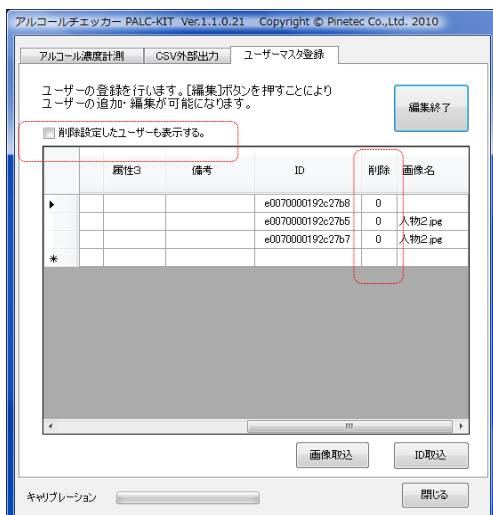


図 77 ユーザーの削除

一度ユーザーマスターに登録したユーザーは削除することができません。 削除に該当する処理として、「削除」欄の値に「1」（半角数字）を設定して再登録することにより、通常のユーザーマスター一覧上には表示されなくなります。

削除設定されたユーザーを表示する場合には、「削除設定したユーザーも表示する」チェックボックスにチェックを入れることにより、一覧に表示されるようになります。

6. 4 事業所コードの登録

PALC-KIT PT-140 Ver.1.7 では、遠隔地のアルコール測定に対応するため、事業所コードを登録する必要があります。

事業所コードは「0」～「9」、「A」～「F」の16種類で指定します。複数の拠点でPT-140を導入されている場合は、各拠点毎に事業所コードを重複の内容に設定します。通常は本社を事業所コード「0」（初期値）に設定します。以下に事業所コードの設定手順を説明します。

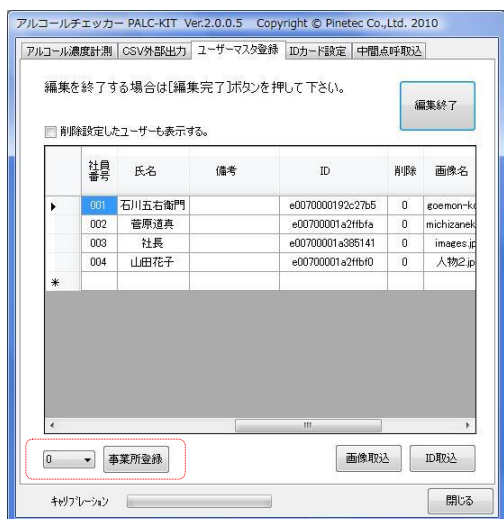


図 78 事業所登録



図 79 事業所コードコンボボックス



図 80 事業所コード登録メッセージ

①「ユーザーマスタ登録」タブを選択し、ユーザーマスタ登録画面を表示します。（図 76）

② [編集] ボタンをクリックすると、メッセージが「編集権限の認証を行います。ID カードをかざして下さい。」と表示されます。ここで権限者の ID カードをかざす事により編集モードに入ります。（図 78）

③編集モードに切り替わると、事業所コードの入力コンボボックスと、[事業所登録]ボタンが表示されます。

④事業所コードコンボボックスの▼をクリックし、事業所コードを選択します。（図 79）

⑤[事業所登録]ボタンをクリックすることで事業所コードが登録されます。登録が完了すると図 80 のメッセージが表示されます。

⑥[編集終了]ボタンをクリックし、編集モードを終了します。

7. 外部出力

PALC-KIT でアルコール濃度の測定した結果は、専用ソフトをインストールしたパソコン内のデータベースに保存されます。専用ソフトでは直近の 1000 件の測定結果を画面表示可能ですが、それ以前の結果閲覧やデータの活用は CSV 外部出力機能により作成された CSV 形式（各項目がコンマで区切られたテキストファイル）のファイルを利用します。

出力された CSV ファイルは、Microsoft EXCEL などにより閲覧や集計することが可能です。CSV 外部出力の方法と Microsoft EXCEL による閲覧方法の手順を以下に示します。

7. 1 CSV 外部出力方法

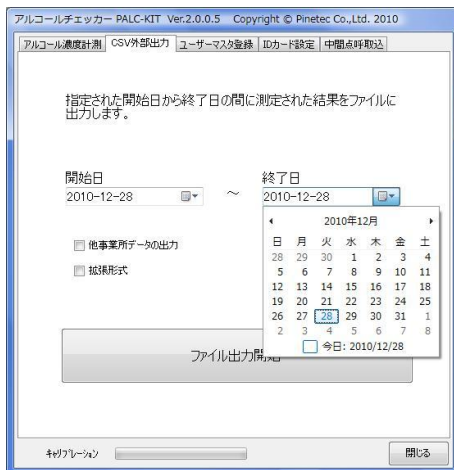


図 81 CSV 外部出力

① 「CSV 外部出力」タブを選択し、CSV 外部出力画面を表示します。

② CSV ファイルに出力したい測定結果の開始日と終了日を入力します。▼をクリックすることによりカレンダーが表示されますので、カレンダー上から日付を選択することも可能です。(図 81)

③ 必要に応じて「他事業所データ出力」「拡張形式」のチェックボックスにチェックを入れます。

- ・「他事業所データ出力」をチェックした場合は、他事業所向けの測定データ(履歴一覧で背景色が灰色のデータ)も出力されます。

- ・「拡張形式」をチェックした場合には、測定地点の GPS データが出力項目に追加されます。

⑤ [ファイル出力開始] ボタンをクリックします。

⑥ 「名前をつけて保存」画面が表示されたら保存したいファイル名を入力します。拡張子「.CSV」は自動的に付加されます。(図 82)

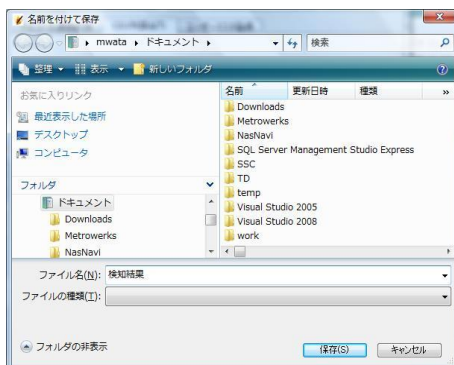


図 82 ファイル名の指定



図 83 CSV ファイル出力結果

⑦出力が完了すると、メッセージが表示されます。

(図 83)

CSV ファイルには 表 2 外部出力項目の内容が出力されます。

表 2 外部出力項目

項目名	標準形式	拡張形式	備考
測定日時	○	○	アルコール測定された日時
社員番号	○	○	被測定者の社員番号
氏名	○	○	被測定者の氏名
濃度	○	○	アルコール測定濃度の値または「未検出」表示 ※勤怠データは「-」表示
判定	○	○	アルコール測定結果の合否判定、ランク表示 ※勤怠データは「-」表示
ヨミガナ	○	○	被測定者のヨミガナ
部門	○	○	ユーザーマスタに登録された部門の内容
オプション	○	○	未使用
属性 1	○	○	ユーザーマスタに登録された属性 1 の内容
属性 2	○	○	ユーザーマスタに登録された属性 2 の内容
属性 3	○	○	ユーザーマスタに登録された属性 3 の内容
備考	○	○	
事業所コード		○	アルコール測定した事業所コード (0~9、A~F)
外部取込		○	外部取込状態 (0：自事業所測定データ) (1：自事業所以外の測定データ)
測定緯度		○	アルコール濃度測定緯度（北緯）
測定経度		○	アルコール濃度測定経度（東経）
ランドマーク		○	特定の測定場所を表す記号 (F：外部取込の場合)
データ 1		○	未使用
データ 2		○	未使用
データ 3		○	未使用

7. 2 Microsoft EXCEL による閲覧

Microsoft EXCEL（以下 EXCEL）を起動し、メニューー開くから、7. 1 CSV 外部出力方法で保存した CSV ファイルを指定することにより閲覧できます。必要に応じて EXCEL の機能を利用して並べ替え、編集および印刷による保存帳票の作成処理を行います。



EXCEL から紙に印刷して保存する他にも PDF 形式で出力することにより電子的に保存することが可能です。

EXCEL のマクロ機能を活用することにより、簡易な勤怠管理を行うことができるようになります。

8. IDカード設定

車載用アルコールチェッカーPT-91シリーズをご利用の場合には、IDカードを利用してPT-91のアルコール濃度の測定条件を設定することができます。

車載用アルコールチェッカーPT-91シリーズは、任意時刻測定モードを有しており、このモードでは任意の6つの時刻でアルコール濃度の計測を開始することができます。この設定はPT-140のIDカード設定画面にて設定入力を行い、IDカードを介してPT-91に設定値を反映します。

IDカード設定画面で設定した内容はPT-140に保存することで、外部データ取込の実行が成功した直後に設定値がIDカードに記録されます。

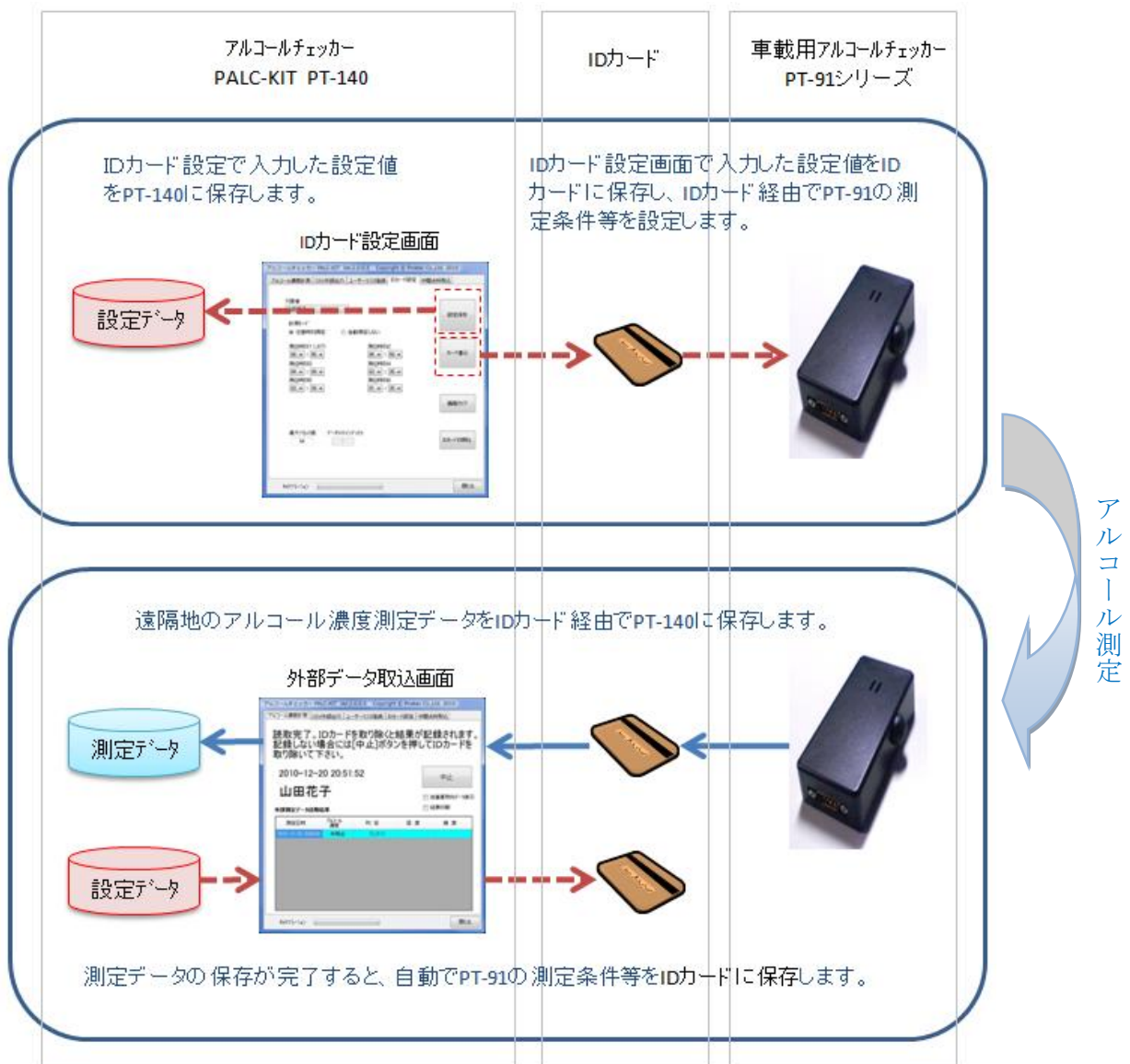


図 84 IDカード設定のはたらき

8. 1 設定入力と保存

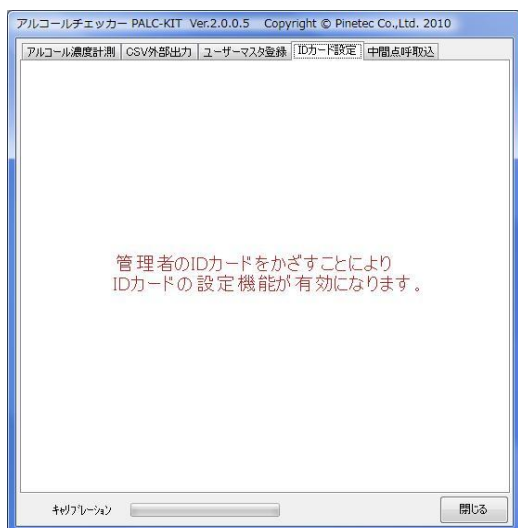


図 85 ID カード設定認証待ち画面



図 86 ID カードの設定入力画面

【情報】

IDカードの管理情報を更新しました。

図 87 管理情報の更新メッセージ

① ID カード設定タブをクリックすると図 85 の画面が表示されます。

② 管理権限のある ID カードをかざすことにより図 86 の画面に切り替わります。

③ 対象者のコンボボックスから ID カードの設定を行いたい人を選択します。既に設定値が入力されている場合にはその値が表示されます。なお、コンボボックスにはユーザーマスタに登録されているユーザーが表示されます。

④設定値を入力します。

・計測モード

「任意時刻測定」または「自動測定しない」を選択して下さい。

・測位時刻

「任意時刻測定」を選択した場合には、「測位時刻 1～6」が入力できるようになります。
※設定しない場合は「99」を選択して下さい。
※[画面クリア]ボタンをクリックすると、各項目の初期値が表示されます。

・最大ブロック長

ID カードの最大ブロック長を入力します。通常は 64（初期値）のままにして下さい。

⑤[設定保存]ボタンをクリックすると設定内容が PT-140 に接続されたパソコンに保存され、図 87 のメッセージが表示されます。

8. 2 IDカードへの書込み

8. 1 設定入力と保存で設定された設定値を ID カードへ書き込む手順は次の通りです。初めて ID カードへ設定を行う場合や設定値を変更する場合に実行して下さい。

- ① 8. 1 設定入力と保存の①～③の手順に従い、ID カードに書込みを行いたい設定を呼び出します。
- ② [カード書込] ボタンをクリックします。
- ③ 込みが完了すると図 87 のメッセージが表示されます。

対象者が書込みを行う ID カードの氏名と一致しなくても、設定値の書込みは実行されます。

8. 3 IDカードの初期化



図 88 IDカードの初期化確認



図 89 初期化の進捗状況

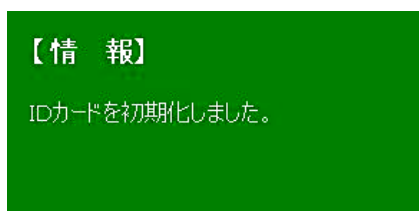


図 90 IDカードの初期化完了

ID カードに初めて書込みを行う場合や何らかの事情により ID カードに書き込まれた設定値に不整合が生じた場合には ID カードを初期化する必要があります。

設定値の不整合が生じた場合には ID カードの初期化を行うことにより問題が解決できる場合があります。ID カードを初期化する手順は次の通りです。

- ① [ID カード初期化] ボタンをクリックします。
- ② ID カード初期化確認メッセージの [OK] ボタンをクリックします。(図 88)
初期化の進捗状況は画面の下に表示されます。(図 89)
- ③ 初期化が完了すると図 90 のメッセージが表示されます。

9. メンテナンス

9. 1 データのバックアップ

PALC-KIT でアルコール測定した結果は、専用ソフトをインストールしたパソコン内のデータベースに保存されます。不測の事態に備え、データベースのバックアップを定期的に行って下さい。データベースのバックアップ手順を以下に示します。

マイコンピュータやエクスプローラーを開き、PALC-KIT のインストール先のフォルダを開きます。インストール時にフォルダを変更をしていない場合、保存先のフォルダは次の通りです。

『 C:\PALCKIT PT-140 Ver.1.7』

このフォルダ直下に存在する『 palckit.sqlite 』ファイルがデータベースファイルになりますので、このファイルをバックアップしたい媒体先にコピーして下さい。



誤って『 palckit.sqlite 』ファイルを削除してしまうと、データは完全に失われてしまい、復旧が不可能になります。

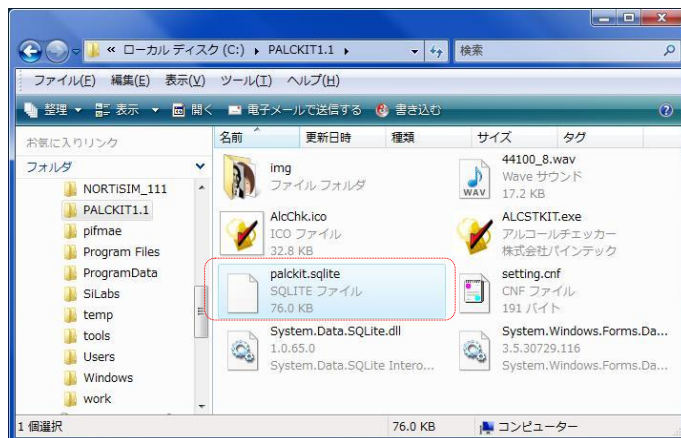


図 91 バックアップの対処ファイル

10. 参考資料

10.1 ファイル構成

インストール時にインストールフォルダを変更していない場合は、以下のファイル構成になります。インストール先を変更した場合には『PALCKIT PT-140 Ver.1.7』フォルダ部分が変わります。

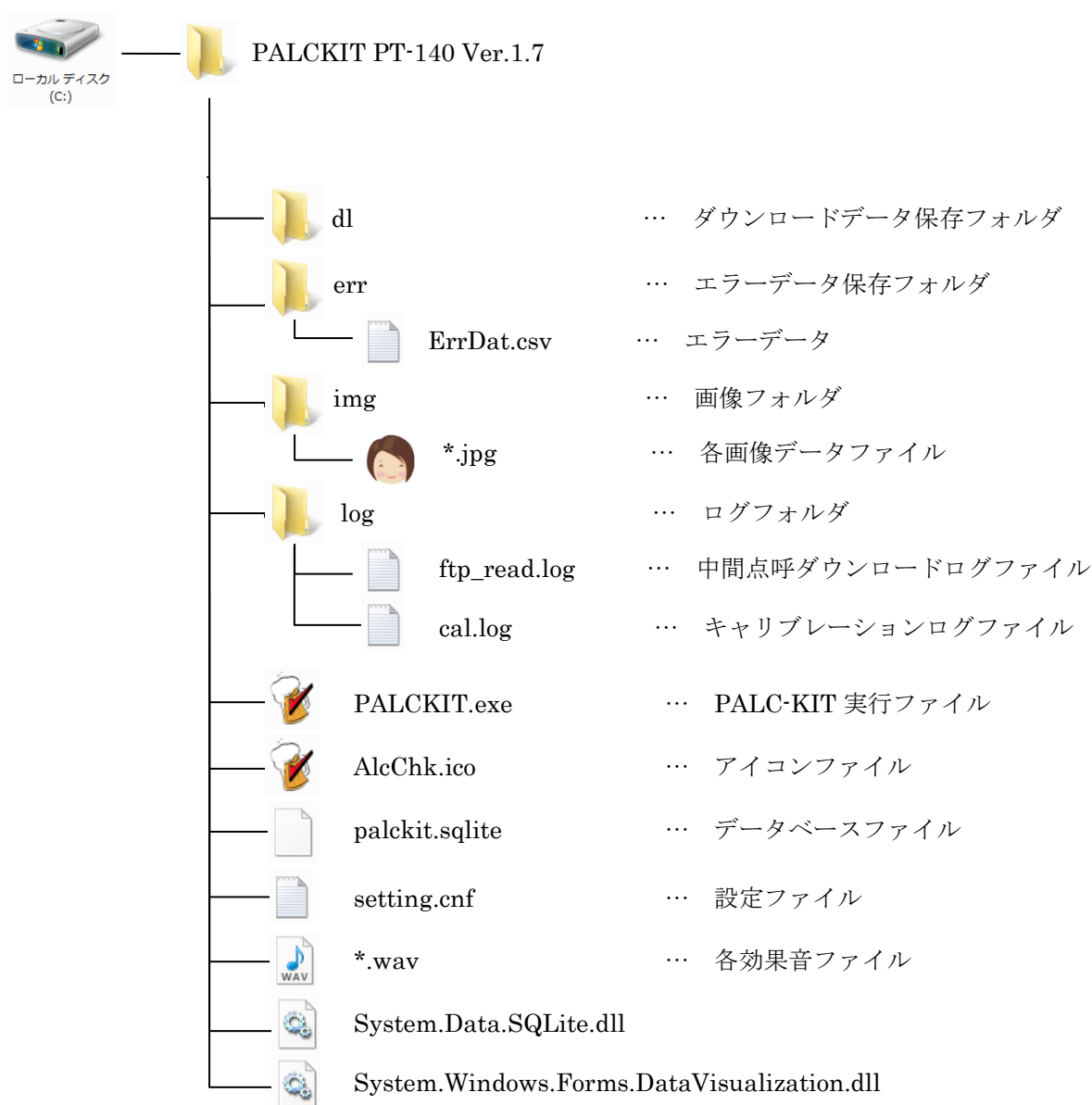


図 92 ファイル構成

※設定や動作の状態により「dl」「err」「log」などのフォルダは存在しない場合もあります。

10.2 設定ファイル

PALC-KIT の各種設定は、設定ファイル『 setting.cnf 』で行います。『 setting.cnf 』ファイルは XML 形式で記述されており、メモ帳等のテキストエディタで編集することが可能です。各設定項目の意味合いは表 3 の通りです。

表 3 設定項目

項目名(タグ)	内 容	設定例
ComNm	PALC-KIT PT-140 が接続されている USB 端子の仮想 COM ポート名 ※自動識別に失敗した場合に適用されます。	COM2 (初期値)
TeptraW	接続されたテプラのテープ幅 (18 または 24)	18 (初期値)
MsgRslt005	測定結果が 0.04mg/l 以上 0.15mg/l 未満の場合に再計測メッセージを表示する。 1: 有効 / 0: 無効	1 (初期値)
OfficeCd	事業所コード (0~9、A~F の 16 ヶ所)	0 (初期値)
CnctInet	インターネット接続可否 1: 接続許可 / 0: 接続不可	0 (初期値)
HttpAddr	WEB サーバー上の中間点呼データ格納アドレス	http://xxxx.co.jp/palckit/
FtpAddr	FTP サーバー上の中間点呼データ格納アドレス	ftp://xxxx.co.jp/palckit/
FtpId	FTP サーバーへのログイン ID	palckit
FtpPw	FTP サーバーへのログインパスワード	12345
FtpDatFn	FTP データのダウンロードデータファイル名	extenko.dat (初期値)
EnableFtpLog	FTP データのダウンロードログ 1: 有効 ログを残す / 0: 無効 ログを残さない	0 (初期値)
FtpLogFn	FTP データのダウンロードデータログファイル名	ftp_read.log (初期値)
BgCalDuration	バックグラウンドキャリブレーションの有効時間 (単位: 分)	1 (初期値)
Log	ウォームアップ・キャリブレーション実行ログ 1: 有効 ログを残す / 0: 無効 ログを残さない	0 (初期値)
AlcSnsThrshLoose	キャリブレーション閾値	10 (初期値)
AlcSnsRstInterval	キャリブレーション時リセットインターバル値	800 (初期値)
AlcSnsWarmupCnt	ウォームアップ完了判定値	30 (初期値)
InvalidJudgment	無効判定機能 1: 有効 / 0: 無効	1 (初期値)

項目名(タグ)	内 容	設定例
ExtOffice	他事業所データの取り扱い 1:有効 / 0:無効	0 (初期値)



不適切な設定の変更により、正常な動作ができなくなる場合があります。設定を変更する前にバックアップを行う事をお勧めします。

11. こんなときは (トラブルシューティング)

現象	原因	対応
セットアップを実行すると「必要なファイルのダウンロード中にエラーが発生しました。ファイルのダウンロードを再実行するか、またはセットアップを中止して下さい。」が表示される。	お使いのパソコンに、 Microsoft .Net Framework 3.5 の環境がインストールされていません。	パソコンをインターネット接続が可能な状態に設定し、再度セットアップを実行します。セットアップの途中で、 .Net Framework 3.5 のコンポーネントのインストール画面が表示されますので、画面の指示に従って操作して下さい。 .Net Framework 3.5 のインストールが完了すると、PALC-KIT のセットアップが続行されます。
ソフトウェアを起動すると『COM ポートオープンエラーが発生しました。COM ポートの設定が誤っているか、センサーが接続されていません。(略)』と表示され、ソフトウェアが終了してしまう。	PALC-KIT がパソコンに接続されていません。	PALC-KIT の USB 端子をパソコンに差し込んで暫くしてからソフトウェアを起動して下さい。(USB 端子を差し込んでから PALC-KIT が認識されるまでに少し時間がかかる場合があります。)
	PALC-KIT が認識されていない。	OS のコントロールパネル—管理ツール—コンピューターの管理からデバイスマネージャを実行し、ポート (COM と LPT) で、「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge(COM x)」が表示されていることを確認します。
	COM ポートの設定が誤っている。	COM ポートがデバイスマネージャで認識されている場合、COM ポートの設定が誤っていることが考えられます。COM ポートの設定は自動で識別していますが、自動識別に失敗した場合には設定ファイル「 setting.cnf 」を開き、『<ComNm>COM x </ComNm>』の x の部分にデバイスマネージャで表示された COM x の x の数字を書き込んで保存し、再度ソフトウェアを起動して下さい。
ソフトウェアを起動すると『アルコールセンサーの校正期限が過ぎています。センサーの校正をお勧めします。』と表示される。	一定期間センサー校正が実施されていません。	正確な測定を行うために、定期的 (6 ヶ月または 10,000 回の測定を推奨) にセンサーの校正を行って下さい。詳しくは、販売店にお問い合わせ下さい

測定しても結果が『無効』となってしまう。	ウォームアップが十分でない。	正しい計測を行うため、測定される10分前にはパソコンに接続して、ソフトウェアを起動しておく必要があります。 また、実際の測定に際して2, 3回のテスト測定を実施しておくこと安定した測定が行えます。
	アルコールセンサーの寿命	何度測定しても測定結果が無効になる場合にはアルコールセンサーの寿命が考えられます。お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。
キャリブレーションに失敗し、センサー寿命のエラーが表示される。	ウォームアップが十分でない（ウォームアップが中断された）。	ウォームアップが十分でないとき正確な測定ができません。ウォームアップが完了するまでお待ちください。 ウォームアップ中にIDカードをかざすとウォームアップを中止します。センサー部にIDカードが載っていない状態で専用ソフトウェアを起動して下さい。
「結果印刷」をチェックしているのに印刷されない。	「通常使うプリンタ」が他のプリンタに設定されている。	OSのコントロールパネルで印刷したいプリンタを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択して下さい。
	「通常使うプリンタ」で設定されているプリンタの電源がオフかオフラインになっている。	プリンタの電源を確認し、電源が入っている場合には、OSのコントロールパネルで印刷したいプリンタを右クリックし、「プリンタをオンラインで使用する」を選択して下さい。
履歴一覧表示領域に過去の測定結果が表示されなくなった。	データベースファイル「palckit.sqlite」が存在しないか壊れている可能性があります。また、ファイルが存在しない場合には自動作成されますが内容が空(サイズが0)の場合もあります。	データベースファイル「palckit.sqlite」のサイズが0バイトの場合は、バックアップされた「palckit.sqlite」をリストアし、専用ソフトウェアを再起動して下さい。 ※バックアップを実施している場合のみ有効。 ※バックアップ実施日以降のデータは復旧することはできません。
	専用ソフトウェアのバージョンアップによりデータベースの形式が一致していないことが考えられます。	専用ソフトウェアのバージョンをお確かめのうえ、販売店にお問い合わせください。

現 象	原 因	対 応
<p>ユーザーマスタ登録で、[編集終了]ボタンを押すと「IDが重複しています。」というメッセージが表示される。</p>	<p>「ID」は重複することが許されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誤って既存の ID カードを登録しようとした場合は、新規の ID カードで登録し直してください。 ・ID カードの使いまわしをするため、別のユーザーに既存の ID カードの番号を割り当てる場合には、編集作業を 2 回に分けて行います。初めにこれまでのユーザーの ID 番号を一度任意の番号に変更し、その後に新しいユーザーに既存 ID カードの番号を割り当てます。 <p>【注意】測定データは、ID カード番号に対して保存されるため、これまでのユーザーの測定データはすべて新しいユーザーのデータとして認識されるようになります。</p>
<p>ユーザーマスタ登録で、一人目の入力を行い、[編集終了]ボタンを押したが、入力した結果が一覧に表示されなくなった。</p>	<p>「削除」「事業所コード」「動作モード」「権限」が正しく入力されていなかった。</p>	<p>「削除設定したユーザーも表示する。」にチェックを入れると、入力した内容が表示されます。</p> <p>[編集] ボタンを押して、「削除」の欄に半角の「0」を入力します（他の項目も同様に半角で入力します）。</p> <p>[編集終了] ボタンを押して登録し直す事により「削除設定したユーザーも表示する。」のチェックを外しても入力した内容が表示されるようになります。</p>
<p>カードの識別音や測定終了後の「未検出です」の音声が聞こえない。</p>	<p>OS のサウンド設定が無効になっているか、ミュートやボリュームが絞られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OS のコントロールパネルーサウンドでボリューム設定やミュートが有効になっていないか確認する。

※背景色が黄色い項目の対応は、コンピューターの知識のある方が行って下さい。

お問合せ先

製品のお問合せは、ご購入頂いた販売店または弊社宛までお願い致します。

株式会社パインテック

- お電話でのお問合せ **0 2 5 8 - 8 6 - 7 0 7 3**
 ※受付…月～金曜日、9時～12時、13時～17時（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

- FAXでのお問合せ **0 2 5 8 - 8 4 - 3 3 6 5**

- 電子メールでのお問合せ **support@pinetec.biz**

PINETEC

株式会社パインテック

TEL	0258-86-7073
FAX	0258-84-3365
EMAIL	info@pinetec.biz
URL	http://pinetec.biz